

令和4年度

事業報告書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

令和４年度事業報告

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団（以下、財団という。）は、指定管理者として京都コンサートホール、ロームシアター京都及び地域文化会館（５館）の施設管理運営を行うとともに、京都市交響楽団の運営を行っております。

令和４年度は、京都コンサートホール、京都市文化会館は指定管理期間（令和元年度から４年度）の最終年度を迎え、ロームシアター京都については、８年間（令和元年度から８年度）の指定管理者として前期期間の最終年度を迎える年でありました。

新型コロナウイルス感染症による影響については、回復の傾向にありつつも、コロナ禍以前の水準までには回復が難しい状況でありました。各施設においては、感染拡大防止対策を適切に行い、利用者の方々が安心して施設の利用ができるよう取り組んでまいりました。

さらに、令和３年度に策定した「中期経営計画２０２５」に掲げる経営方針の推進や次期指定管理の獲得に向けた取組を着実にを行い、京都の文化芸術の魅力を様々な方法により発信し、文化芸術による心豊かな社会に資する取組を進めてまいりました。

『公益目的事業』

■ 京都コンサートホール

I 主催・共催事業〔全35事業42公演4講座（うち中止1事業1公演）〕

令和4年度に指定管理期間の最終年を迎えた京都コンサートホールでは、これまで以上に「文化芸術都市・京都」をアピールできるような多彩な事業を企画しました。新型コロナウイルス感染症の影響もこれまでで最小となり、京都の「クラシック音楽の殿堂」として、あらゆる方々にクラシック音楽を幅広くお届けできるよう、様々な事業を通して生演奏を鑑賞する喜びを広く発信しました。

1 京都市交響楽団の更なる飛躍を促進



京都コンサートホールを活動拠点とする京都市交響楽団による優れた演奏会を開催しました。「第26回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」では、指揮にアメリカを拠点に活動の場を広げている原田慶太楼、ピアノにロン＝ティボー国際音楽コンクールピアノ部門覇者の亀井聖矢（当初予定していた高木竜馬が急病のため降板）を迎え、音楽祭の幕開けを華々しく飾りました。

『京都コンサートホール×京都市交響楽団プロジェクト Vol.3』では、この年に生誕150年を迎えたロシアの興行主セルゲイ・ディアギレフをテーマに、フランスの名匠パスカル・ロフェとロシアの名ピアニスト アレクセイ・ヴォロディンと共に、ストラヴィンスキー・プロコフィエフ・R=コルサコフの傑作を取り上げました。

また、京都市交響楽団のメンバーの活動を支える取組として、「アンサンブル弦伍楼 Vol.3」「京都 ラ ビッシュ アンサンブル Vol.18」「京都しんふおにえった」「ラ・メリ メロ アンサンブル Vol.6」「京都バロック室内合奏団 Vol.4」の5公演を制作し共催しました。

2 質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供

令和4年度は、令和元年以来3年ぶりとなる海外オーケストラ公演の招聘が叶いました。サー・サイモン・ラトル率いる「ロンドン交響楽団 京都公演」を開催し、多くのお客様に世界の響きをお届けすることができました。

アンサンブルホールムラタでは、2022年に生誕200年を迎えたベルギー出身の作曲家セザール・フランクにフィーチャーした公演「神に愛された作曲家 セザール・フランク」を開催し、フランスのピアニスト エリック・ル・サージュや国内外で活躍する若手弦楽器奏者5名をゲストに迎え、フランクの傑作を一挙にお届けしました。

さらに、ラフマニノフがアメリカでかつて愛用していたニューヨーク・スタインウェイをホールに持ち込み、京都在住のロシア人ピアニスト イリーナ・メジューエワがラフマニノ

フ・スクリャービン・メトネルの名曲を奏でるという試みを行いました。この公演はチケット完売となり、後日NHK-BS「クラシック倶楽部」で放映され、大きな反響を呼びました。

また、平成27年度からスタートした海外アーティストによる「北山クラシック倶楽部」シリーズを4公演開催し、質の高い演奏を聴衆に届けることができました。



3 日本有数のパイプオルガンの活用



国内最大級のパイプオルガンを活用した「オムロン パイプオルガン コンサートシリーズ」では、海外で活躍するオルガニストを招いて行う“世界のオルガニスト”と、国内で活躍を重ねる気鋭オルガニストを起用した“オルガニスト・エトワール”の2つの公演を開催しました。“世界のオルガニスト”ではフランス出身の世界的オルガニストであるミシェル・ブヴァールを招聘し、セザール・

フランクのオルガン作品を中心に、名演奏を繰り広げました。“オルガニスト・エトワール”では、所沢ミューズ第4代オルガニストの三原麻里及び金管五重奏MIYABI 雅をゲストに迎え、オルガンと金管五重奏のハーモニーをお楽しみいただきました。

4 ジュニアオーケストラの運営／大学生を中心とした実演家の育成支援



京都市立芸術大学をはじめ関西の音楽大学8大学が集結する「関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール」は、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら開催し、指揮者の秋山和慶の指導のもと、学生たちが心を合わせた演奏を披露しました。

京都市ジュニアオーケストラによる「第18回京都市ジュニアオーケストラコンサート」では、京都出身の指揮者である中田延亮が登場し、チャイコフスキーの《白鳥の湖》やムソルグスキーの《展覧会の絵》といった、ロシアの傑作中の傑作を取り上げ、力強さとフレッシュさを兼ね備えた演奏を多くの聴衆に届けることができました。

5 子どもや青少年の創造性を育む事業



子どもから大人まで幅広い年齢層の聴衆を対象とした『KCH的クラシック音楽のススメ 第3回』では、名手揃いの「東京六人組」がステージに登場し、圧巻のアンサンブル力と音楽性を披露しました。公演前日には、「東京六人組」のメンバーが京都市立中学校の吹奏楽部を訪れ、バンドクリニックを行うなど、プロの音楽家とアマチュア音楽家の文化的交流の場を創出しました。

幼稚園児がオルガンに親しむ体験型事業「ポジティブオルガン体験講座」では、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ、様々な工夫を施しながら、5園計118名の幼児にパイプオルガンの音が出る仕組みや音楽の楽しさを伝えました。

「Join us (ジョイ・ナス)！～キョウト・ミュージック・アウトリーチ～」では、令和4年度から活動をスタートさせた京都コンサートホール第2期登録アーティスト2名と共に、市内の小学校や中学校を訪れ、生演奏の素晴らしさを音楽とお話で多くの方々に伝えました。

6 地域の活性化と市民参加型演奏会の開催

平日午前11時開演のランチタイム・コンサート「京都北山マチネ・シリーズ」では、リ्यूート&ソプラノ、チェロ&ピアノ、ピアノ、オーボエ&ピアノの4公演を開催し、日本の若手～中堅音楽家の情熱あふれる演奏をたくさんの方々にお届けしました。また、公募によって出演者を決定する「リレーコンサート」では、京都だけでなく関東方面からの参加もあったほか、シリーズ3年ぶりとなる声楽家による演奏披露が行われるなど、多彩な演奏を楽しむことができるコンサートとなりました。北山あおいフェスティバルと同時開催し、まちづくりを通じて地域の活性化に貢献しました。

7 賑わい事業の開催

京都コンサートホール1階エントランスホールを活用した賑わい事業として「ニューイ・ブランシュKYOTO 2022」（白夜祭）及び「京都コンサートホール ロビーコンサート」を感染拡大防止策として入場制限を設けたうえで開催しました。「ニューイ・ブランシュKYOTO 2022」では、京都市立芸術大学 現代音楽研究会 club MoCoが出演し、現代音楽の魅力を伝えるべく熱演を披露しました。「ロビーコンサート」では、ケルティックハープ、ヴァイオリン、モダン&バロックチェロといったバラエティ豊かな演奏とプログラムを提供しました。

また、北山地域と協働で9月に「北山フェスティバル」と称したライブ・パフォーマンス、3月には「北山あおい茶会」を開催しました。

さらには、クリスマスの季節感を創出するためにイルミネーションを設置しました。



（参考）京都コンサートホールにおける事業・公演数の変遷

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事 業 数	37 事業	44 事業	46 事業	35 事業
公 演 数	42 公演	62 公演	55 公演	42 公演
講 座 数	10 講座	5 講座	4 講座	4 講座

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度はうち中止2事業3公演、令和2年度はうち中止17事業29公演5講座、延期13事業12公演、令和3年度はうち中止11事業11公演、延期2事業2公演、令和4年度はうち中止1事業1公演。

8 音楽芸術の人材育成のための支援制度

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため、音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成金交付制度」を引き続き実施し、大学の交響楽団演奏会など13事業を支援しました。

(参考) 令和4年度 京都コンサートホール ホール利用助成金交付制度による支援実績

事業名	事業日	主催者
立命館大学交響楽団 第127回定期演奏会 リハーサル	5月24日 (火) 大ホール	立命館大学交響楽団
立命館大学交響楽団 第127回定期演奏会 リハーサル	6月2日 (木) 大ホール	
立命館大学交響楽団 第127回定期演奏会	6月3日 (金) 大ホール	
京都大学交響楽団 第211回定期演奏会	6月22日 (水) 大ホール	京都大学交響楽団
京都両洋高等学校吹奏楽部 第10回定期演奏会 リハーサル	7月20日 (水) 大ホール	京都両洋高等学校吹奏楽部
京都両洋高等学校吹奏楽部 第10回定期演奏会	7月21日 (木) 大ホール	
立命館大学交響楽団 第128回定期演奏会 リハーサル	11月30日 (水) 大ホール	立命館大学交響楽団
立命館大学交響楽団 第128回定期演奏会	12月1日 (木) 大ホール	
京都大学交響楽団 第212回定期演奏会	12月16日 (金) 大ホール	京都大学交響楽団
京都府立北嵯峨高等学校吹奏楽部 第41回定期演奏会	3月17日 (金) 大ホール	京都府立北嵯峨高等学校 吹奏楽部
京都文教中学・高等学校吹奏楽部 定期演奏会	3月22日 (水) 大ホール	京都文教中学・高等学校 吹奏楽部
大谷中学高等学校吹奏楽部 第59回定期演奏会	3月23日 (木) 大ホール	大谷中学高等学校吹奏楽部
令和4年度京都市立修学院中学校吹奏楽部 定期演奏会	3月24日 (金) 大ホール	京都市立修学院中学校 吹奏楽部
京都精華学園高等学校吹奏楽部 第36回定期演奏会	3月27日 (月) 大ホール	京都精華学園高等学校 吹奏楽部
京都市立上京中学校吹奏楽部 第39回定期演奏会	3月28日 (火) 大ホール	京都市立上京中学校 吹奏楽部
第29回 京都府立北稜高等学校吹奏楽部 定期演奏会	3月29日 (水) 大ホール	京都府立北稜高等学校 吹奏楽部
京都女子中学高等学校オーケストラ部 第39回定期演奏会	3月31日 (金) 大ホール	京都女子中学高等学校 オーケストラ部

Ⅱ 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

京都コンサートホールにおいては、「京都におけるクラシック音楽の殿堂」としての役割を果たすとともに、音楽とのすばらしい出会いを創出し、市民の芸術文化振興の拠点となるよう、利用者ニーズの把握を積極的に行うなど利用の促進に努めました。

その取り組みの中で、本番利用につなげるためのプロモーションとして、リハーサル利用が通常の利用料金より割引価格でアンサンブルホールムラタの利用ができる「リハーサル応援制度」を夏休み期間の7～8月に実施し、8件の利用がありました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、公演等の活動を休止した団体及び個人等に対し、令和4年11月から令和5年2月にかけて、京都府文化団体等活動継続支援事業を活用した公演を募集し、施設利用料金等について京都府が負担とする活動支援を実施しました。

実績1 利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ホール料金収入額	215,182 千円	183,729 千円	85,429 千円	170,928 千円	211,856 千円
駐車場利用収入額	17,956 千円	14,858 千円	6,912 千円	11,355 千円	14,604 千円
計	233,138 千円	198,587 千円	92,341 千円	182,283 千円	226,460 千円

実績2 入場者数

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入場者数の目標値	325,000 名	290,000 名	296,000 名	296,000 名	296,000 名
入場者数の実績値	295,466 名	264,910 名	48,209 名	103,894 名	200,135 名
目 標 達 成 度	90.9%	91.2 %	16.2 %	35.0 %	67.6 %

実績3 日数利用率

大ホール

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用率(日数)の目標値	70%	68 %	67 %	68 %	69 %
利用率(日数)の実績値	69%	61 %	40 %	72 %	73 %
目 標 達 成 度	98.6%	88.2 %	59.7 %	104.4 %	105.7 %

アンサンブルホールムラタ

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用率(日数)の目標値	58%	60 %	62 %	60 %	61 %
利用率(日数)の実績値	61%	57 %	28 %	55 %	62 %
目 標 達 成 度	105.2%	95.0 %	41.7 %	90.0 %	101.6 %

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進

平成21年度からCS（顧客満足度向上）委員会やホールレセプション会議を毎月開催し、施設の管理運営における問題点の改善や利用者のサービス向上に努めました。

特にCS委員会においては、施設で働く各部門の従事者の代表が参加し、利用ニーズの把握、要望の検証等を行い、「利用者が望むものは何か」を常に考え、利用者の期待に応える接客・応対について協議してまいりました。

その成果として、楽屋エリアのWi-Fi通信環境の改善や楽屋内にある案内表示の改善などを実施しました。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置

平成23年11月から実施している「理事長への手紙」を引き続き実施し、手紙をいただいた皆様からの貴重なご意見を参考にサービス向上に努めました。

また、施設の利用に関する要望・提案をお伺いするため、「お客様ご意見箱」を設置し、さらなるサービス向上に努めました。

また、京都コンサートホール・ロームシアター京都の施設をご利用いただいた皆様には、後日、アンケートを兼ねたお礼状（サンキューレター）を送付し、リピーターの確保及び利用者ニーズの把握に努めました。

(参考) アンケート調査の結果【満足と回答いただいた割合】

項目	京都コンサートホール	東部文化会館	呉竹文化センター	西文化会館ウエスティ	北文化会館	右京ふれあい文化会館	ロームシアター京都
案内表示	94%	88%	80%	89%	77%	79%	62%
応対の仕方	93%	88%	77%	86%	65%	66%	90%
身だしなみ	92%	91%	80%	87%	76%	69%	86%
態度	94%	91%	80%	91%	71%	72%	89%
言葉づかい	93%	92%	79%	91%	72%	76%	91%
説明の仕方	98%	88%	80%	89%	70%	73%	88%
窓口の印象	93%	89%	84%	90%	79%	83%	78%
感染症対策	93%	87%	78%	86%	76%	79%	83%
清掃	—	92%	60%	75%	76%	83%	—

(3) 京都コンサートホール鑑賞マナーの推奨

鑑賞者に演奏会をより快適な空間・環境で楽しんでもらうため、「鑑賞マナーリーフレット」の配布や館内に鑑賞マナー向上を啓発するポスターを掲出して、京都コンサートホールに来ていただいた全ての鑑賞者が満足していただけるコンサートづくりに努めました。

(4) 施設・設備の維持管理

京都コンサートホールは開館から27年が経過したことで、施設・設備の経年劣化が進んでいるため、財団としてもより一層施設等の修繕に力を入れ、安全面や利用者の快適性を視野に入れた改善に取り組みました。所有者である京都市による施設・設備の改修及び修繕のほか、財団においても京都市との指定管理契約に基づき、計画的な改修並びに修繕に取り組みました。

また、大規模修繕へ向けて、京都市に対し引き続き計画的対応を提案してまいりました。

(参考) 主な修繕事例 (財団実施分)

修 繕 内 容
大ホールホワイエ電源増設
大ホール録音用マイク取替修繕
ピロティ北側壁面洗浄修繕
大ホール・小ホール用指揮台修繕
楽屋口前、プロムナード(北東側)タイル修繕

(5) 危機管理体制の更なる強化

利用者、観客等の安全確保を最優先に考え、実際の勤務形態にあわせた職員の人数を想定した「防火・防災訓練」を行い、職員の危機管理意識の更なる向上に努めました。

3 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

(1) 主催事業ラインアップ・リーフレットの発行

年間の主催事業ラインアップを事業のシリーズ毎に分類して紹介するレイアウトで構成し、発行しました。

(2) 催物カレンダーの発行

京都コンサートホールが自ら企画する主催・共催事業、それらに関するコラムのほか、京都コンサートホールで開催される最新の催物情報を掲載したコンサートガイドを毎月発行し、催物情報の提供やチケット販売促進に努めました。



(3) ホームページ等の充実

WEBアクセシビリティ向上のため、共通メニューの改修やお客様が目的の公演チケットをスムーズに購入出来るように購入画面への遷移を的確にする改修を行いました。

また、京都コンサートホールの魅力をより多くの方に知っていただくため、施設や事業の様子等を撮影したプロモーションビデオを制作し、ホームページに掲載しました。

引き続き、インターネットの利点を最大限に活かし、常に新鮮な情報を発信するため、Facebook、Twitter、公式ブログやYouTubeに加えて、新たにInstagramの公式アカウントを開設し、効果的な情報提供を行うとともに、さらに魅力あるホームページとなるよう、充実を図りました。

(参考) ホームページ月平均アクセス件数

会 館 名	令和3年度	令和4年度	令和4年度 －令和3年度
京都コンサートホール	91,886 件	112,347 件	20,461 件
ロームシアター京都	232,831 件	341,988 件	109,157 件
東 部 文 化 会 館	11,827 件	10,743 件	△1,084 件
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	16,057 件	17,200 件	1,143 件
西文化会館ウエスティ	9,975 件	10,191 件	216 件
北 文 化 会 館	17,479 件	18,855 件	1,376 件
右京ふれあい文化会館	13,651 件	13,849 件	198 件
京 都 市 交 響 楽 団	103,347 件	177,157 件	73,810 件

(4) チケット票券管理システムの効果的な運用

京都コンサートホールとロームシアター京都で開催する催しのチケットが相互で購入できるサービスや、インターネットからのチケット購入において各施設の窓口で引き取れるなど、引き続き利便性の向上に取り組みました。

(5) 電子チケットの導入 (Gettii チケットれすQ)

会場でのチケットモギリの際の接触機会を低減させることや、利便性の向上を図ることを目的とし、新たに電子チケットを導入しました。スマートフォンやパソコンにQRコード（二次元コード）を発行し、読み取り機にQRコードをかざすだけで入場できるチケットとして、令和4年度から自主事業を対象に取り組みを始めました。

(6) 貸館利用者のチケット販売受託業務の実施

チケット管理システム (Gettii) を使用して、貸館利用者のチケット販売を受託（手数料10%）し、施設利用者や観客の利便性向上に貢献しました。

(参考) 入場券販売業務受託状況

会 館 名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	174 件	14,110,666 円
ロームシアター京都	112 件	8,811,339 円
計	286 件	22,922,005 円

(7) セット券の販売

京都コンサートホールでは、アンサンブルホールムラタで世界のトップクラスの室内楽を鑑賞する「北山クラシック倶楽部」において、100枚限定で4公演のセット券を販売しました。

(8) 学生、高齢者、障がいのある方等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備

京都コンサートホールの主催事業において、学生割引、シニア割引、障がいのある方割引に加え、30歳以下の方に向けたU-30券の販売を実施し、学生、高齢者、障がいのある方等、誰もが音楽を鑑賞しやすい環境を整備しました。

(9) ウィークデーパッケージプランの運用

クラシック音楽だけではなく、他のジャンルにも間口を広げ、多様な音楽ファンが集えるホールとして「京都コンサートホールウィークデーパッケージプラン」を引き続き実施し、平日のホール利用率向上に貢献しました。

(参考) 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン事業数

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事 業 数	5 事業	3 事業	5 事業	9 事業

(参考) 令和4年度 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン実施実績

事 業 名	事 業 日	主 催 者
第27回シネマ・コンサートの会	5月27日 (金) アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ
牛田智大ピアノ・リサイタル2022	9月8日 (木) 大ホール	(株)オトノワ
第28回シネマ・コンサートの会	9月16日 (金) アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ
パリ、愛の歌～魅惑のフレンチ・シャンソン	9月27日 (火) 大ホール	(一財)民主音楽協会 関西センター
ベートーヴェン シネマ&リサイタル 近藤嘉宏plays三大ピアノ	11月2日 (水) アンサンブルホールムラタ	グループ・未来
垣内悠希指揮京都市交響楽団 ベートーヴェン「第九」	12月9日 (金) 大ホール	京都ミューズ
ローナ・マギー フルートリサイタル 2022	12月13日 (火) アンサンブルホールムラタ	(株) グローバル
第29回シネマ・コンサートの会	2月17日 (金) アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ
作曲家平野一郎の世界2023	3月3日 (金) アンサンブルホールムラタ	ArTRANDOM

(10) 外部資金の獲得

主催事業の実施に当たっては、文化庁助成、民間助成に加え、民間企業等からの協賛金の獲得に努めました。さらには、賛助会員制度（4 各種会員制度等の運営（2）賛助会員制度の運営 参照）の活用を行いました。

4 各種会員制度等の運営

(1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組

「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」「京響友の会」の各会員制度の周知を図るとともに、会員共通サービスとして京都市交響楽団の練習風景の公開やバックステージツアーに加え、令和4年度は広上淳一館長によるトークイベントも開催するなど、各会員制度を有機的に活用し、新規会員の獲得に努めました。

また、オンライン会員の「フレンズ会員」（ロームシアター京都との共通会員）については、メールマガジンで先行発売の情報などを配信し、会員数の維持・拡大を図りました。

(参考) 会員数の推移

会 員 制 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
京都コンサートホールClub	2,897 名	2,761 名	2,071 名	2,530 名	3,003 名
京響友の会 個人会員	1,433 名	1,439 名	1,337 名	1,337 名	—
京響友の会 法人会員	95 社	98 社	92 社	92 社	—
京響友の会 チケット会員	—	—	—	—	1,305 口
京響友の会 スポンサー会員	—	—	—	—	11 社

※京響友の会について、令和3年度は休止、令和4年度より制度見直し

(参考) フレンズ会員登録数

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新 規 登 録 数	7,857 名	9,458 名	3,982 名	5,873 名	9,475 名
累 計 登 録 数	50,898 名	60,356 名	64,338 名	70,211 名	79,686 名

(2) 賛助会員制度の運営

京都コンサートホール及びロームシアター京都の主催事業の一層の充実のため、年間を通じた支援を受けるべく、賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）を設けています。会員の方には、会報の送付、チケットの先行予約のほか、会員向けバックステージツアーやゲネプロ公開を行うなど、会員の方に事業内容を深くご理解いただき継続してご支援いただけるように努めました。また、2年ぶりに事業報告会を開催するなど会員の方に事業内容を深くご理解いただき、継続してご支援いただけるように努めました。

なお、寄附金は、京都コンサートホール及びロームシアター京都の主催事業の事業費に充当しました。

(参考) 会員数と寄附金

会員区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
スペシャルサポーター (法人)	1 件 50 万円	2 件 100 万円	2 件 100 万円	2 件 100 万円	2 件 100 万円
サポーター (法人)	31 件 340 万円	28 件 290 万円	20 件 210 万円	17 件 180 万円	17 件 180 万円
スペシャルパートナー (個人)	32 件 162 万円	36 件 176 万円	33 件 218 万円	28 件 149 万円	16 件 103 万円
パートナー (個人)	45 件 90 万円	46 件 92 万円	52 件 104 万円	48 件 96 万円	50 件 100 万円
合 計	109 件 642 万円	112 件 658 万円	107 件 632 万円	95 件 525 万円	85 件 483 万円

■ 地域文化会館

（東部文化会館、呉竹文化センター、西文化会館ウエスティ、北文化会館、右京ふれあい文化会館）

I 主催事業〔全53事業69公演7講座（うち中止1事業2公演）〕

地域文化会館が地域の文化芸術の活動拠点として、平成23年度から取り組んできた「地域文化芸術活動活性化協議会」「文化芸術活性化パートナーシップ事業」などを、新型コロナウイルス感染症の影響がある中においても引き続き実施し、文化芸術活動団体、行政、学校関係、地元の各団体等とのネットワークを強化し、文化芸術活動や情報の受発信、文化芸術活動団体の育成や支援、地域イベントへの積極的な関与など、地域の文化芸術の振興に取り組みました。

1 地域文化芸術活動活性化協議会の開催

地域文化芸術活動活性化協議会からの提案や意見を受け、コーディネイターが地域の文化芸術活動団体・個人と連携する事業を文化会館で実施し、魅力ある地域づくりに貢献してまいりました。

西文化会館ウエスティでは、Le violetteの協力のもと、「ウエスティ・パフォーマンス広場“音楽の贈り物”」、右京ふれあい文化会館では、名作映画の上映会「京都・太秦キネマのまち〜4Kデジタルリマスターで蘇る「大魔神怒る」〜」を開催しました。

※ 地域文化芸術活動活性化協議会とは

文化芸術活動団体、行政の代表者、教育機関の代表者などで構成され、地域ネットワークの構築、文化芸術の情報提供、アウトリーチ事業の開催協力、施設運営への助言や意見交換などを行うとともに、協議会の持つネットワークを活用し、文化芸術活動情報の受発信、事業の協働企画・開催など、地域文化会館が文化芸術の活動拠点として、より一層、地域における文化芸術の活性化を図るとともに、魅力ある地域のまちづくりに貢献するため、平成23年度から各地域文化会館に設置しています。

2 地域文化会館の重点的な取組

地域文化会館では、以下の5つの視点を重視した文化事業を実施しました。

- ① 文化芸術活性化パートナーシップ事業
- ② 地域における文化芸術普及事業
- ③ 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業
- ④ 住民の文化芸術活動への支援型事業
- ⑤ 施設間の交流事業

(1) 文化芸術活性化パートナーシップ事業



地域の文化芸術の活性化を図るため、各地域文化会館ではパートナー団体と協働で、鑑賞型の「無料公演」に加え、地域の子どもたちを対象とした育成型プログラムである「教育プログラム」を実施しました。

西文化会館ウエスティでは、吹奏楽団京都ムジークフェラインが未就学児及び小学生を対象に、お芝居や楽器クイズなどを交えたストーリー形式のアンサンブル演奏会ムジークと打楽器を演奏しよう！！」を、また、北文化会館では、吹奏楽団「雅」が「みやびと旅する吹奏楽」を開催し、地域の方々に生の演奏を楽しんでいただきました。

(参考) 令和4年度パートナーシップ団体

会 館 名	パートナーシップ団体
東 部 文 化 会 館	日吉ヶ丘ギターマンドリンアンサンブル 京都橘大学吹奏楽部
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	墨染交響楽団
西文化会館ウエスティ	吹奏楽団京都ムジークフェライン 特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団
北 文 化 会 館	吹奏楽団「雅」 合唱団「葡萄の樹」
右京ふれあい文化会館	NEO吹奏楽団 RAM吹奏楽団

※ 文化芸術活性化パートナーシップ事業とは

演劇・音楽・ダンスなど舞台芸術活動団体（パートナーシップ団体）と地域文化会館が、協働して地域の文化芸術を活性化することを目的とし、魅力ある舞台芸術を披露する「無料公演」、未来を担う子どもたちを対象にワークショップやミニコンサートなどを行う「教育プログラム」を会館内外で年1回以上開催することを条件に、拠点となる文化会館のホールを練習で利用する場合、通常料金の2割で利用することができるほか、文化会館が活動情報の発信や地域活動への協力などを行う事業です。

(2) 地域における文化芸術普及事業

ア 伝統的芸術文化の紹介

現代に受け継がれる伝統芸能等を紹介する場を設け、広く発信することで、保存・活動団体等の活動支援を行い、市民が伝統芸能等への理解を深める機会とするため、公演及びワークショップを開催しました。東部文化会館ではわかりやすい解説とワークショップを交えた「地域みんなの狂言鑑賞会」、呉竹文化センターでは国の重要無形文化財に指定されている琉球舞踊の実演と体験ワークショップによる「琉球舞踊をたのしもう」、西文化会館ウエスティではプロの噺家による質の高い伝統話芸「ウエスティ新春寄席」、北文化会館では日本の伝統芸能を代表する能の楽しみ方を紹介した「伝統芸能鑑賞会～お能の世界へようこそ～」、右京ふれあい文化会館では新春特別公演として「大念佛狂言の世界～嵯峨・千本ゑんま堂・和久里壬生狂言～」をそれぞれ開催しました。



(参考) 令和4年度の伝統芸能公演ラインナップ

会 館 名	タイトル	内 容
東 部 文 化 会 館	伝統音楽・伝統芸能シリーズ 「地域みんなの狂言鑑賞会」	小学生を対象とし、狂言の解説とワークショップを交えた鑑賞会
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	日本の伝統芸能との出会い 「琉球舞踊を楽しもう」	国の重要無形文化財指定の琉球舞踊の実演と体験のワークショップ
西文化会館ウエスティ	伝統芸能シリーズ 「ウエスティ新春寄席」	露の瑞、桂福丸、桂よね吉、笑福亭松喬による4席の落語を披露
北 文 化 会 館	伝統芸能鑑賞会 ～お能の世界へようこそ～	河村晴久、宮本茂樹、河村浩太郎による能の解説、所作・謡の体験
右京ふれあい文化会館	大念佛狂言の世界～嵯峨・千本ゑんま堂・和久里壬生狂言～	国の重要無形民俗文化財等指定の京都大念佛狂言保存会等による実演

イ アウトリーチ事業

活動団体（文化芸術活動団体）を主催団体（学校等の教育施設、病院や福祉施設、商業施設等）に派遣し、ワークショップやミニコンサートを行うアウトリーチ事業については、令和4年度は活動団体と連携し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を施したうえで、地域の文化芸術の振興に向けて取り組みました。

また、京都市文化会館×京都市交響楽団連携事業として楽団員によるアウトリーチコンサートを開催し、京都市立東総合支援学校と京都市立北総合支援学校の生徒、関係者等を対象に、気兼ねなく生演奏に触れ音楽を楽しむことのできる機会を提供しました。



(3) 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業

ア 地域の教育機関との連携

京都市立芸術大学と各地域文化会館が連携して才能ある若い世代を支援するため、西文化会館ウエスティで「ウエスティ音暦（おとごよみ）」2公演、北文化会館で「文化会館コンサート」2公演を開催しました。また、東部文化会館では、京都橘大学と連携し、文化芸術の振興に寄与する人材の育成を目的とした「文化芸術による地域貢献プロジェクト」を引き続き実施しました。



さらに、京都市内の総合支援学校の生徒、保護者等を対象とし、気兼ねなく生演奏に触れ音楽を楽しむことのできる機会を提供するため、令和4年度は京都市立東総合支援学校と京都市立北総合支援学校の生徒及び関係者を対象に、アンサンブルコンサートを京都市交響楽団と連携して開催しました。

イ 子どもを対象とした体験型事業



次世代の文化芸術活動を担う子どもたちが劇場という場を体験し、多様な芸術表現に触れ、豊かな感性と創造性を身につけるための事業として、西文化会館ウエスティでは「夏休みウエスティたんけんツアー」を実施し、バックステージツアーでは舞台音響・照明の操作体験を提供しました。

(4) 住民の文化芸術活動への支援型事業

ア 市民参加型事業（活動団体の支援）

市民の誰もが文化芸術活動に参加し自己表現することに感動できる事業として、令和4年度も引き続き、北文化会館で「市民創造ステージ」を、東部文化会館では、地域との連携・協働による参加型事業として、地域のコーラスサークルによる発表や交流の場とする「第17回コーラス・フェスティバル in 山科・醍醐」を開催しました。



イ 地域と連携しアーティストのパフォーマンスを支援



地域ネットワークを活用し、地元で活動している文化芸術活動団体にパフォーマンスの場を提供し、地域への活動情報の発信などを通じてアーティストの技術・芸術性向上への支援を行う西文化会館ウエスティの「ウエスティ・パフォーマンス広場」を開催しました。

ウ 創作文化活動の作品展示

賑わいスペースの創出として、東部文化会館では「ギャラリーエコム」、呉竹文化センターでは「くれたけミニギャラリー」、西文化会館ウエスティでは「ウエスティ ギャラリー」、北文化会館では「KITABUNミニギャラリー」、右京ふれあい文化会館では「右京ふれあいミニギャラリー」を通年で開催し、創作文化活動を行う、個人・団体に作品展示の場を無料で提供しました。

エ 舞台芸術活動なんでも相談会

市民の舞台芸術の発表の場において芸術性や創造性を高めるため、公演やコンサートでの照明・音響演出、舞台運営方法など舞台づくりに関する相談について、専門性豊かな技術担当者が提案やアドバイスを行いました。

(5) 施設間の交流事業

ア 鑑賞型事業の実施

京都市交響楽団と連携し、文化会館5館において低料金で0才から入場できる「みんなのコンサート」の開催や、京都市内の総合支援学校の生徒、関係者等を対象とし、楽員が地域に出向き、気兼ねなく生演奏に触れ音楽を楽しめる機会を提供するアンサンブルコンサートを開催しました。



イ 乳幼児、幼児向けの公演の実施



ロームシアター京都との連携事業として、シアターデビュー促進プログラム「およげ！ショピニアーナ」を各館でそれぞれ2公演開催し、子どもたちの創造性を豊かにするとともに、親子で舞台芸術に触れる機会を提供しました。

ウ 京都市ジュニアオーケストラの活動支援

京都コンサートホールとの連携事業で京都市交響楽団の楽団員等が指導する「京都市ジュニアオーケストラ」においては、音楽活動を充実させるため、練習会場として各地域文化会館を活用するとともに、右京ふれあい文化会館では、「ミュージック・サマー・コンサート」を開催し、活動内容の情報を発信するなど、若いオーケストラを支える環境づくりを行いました。

(参考) 文化会館における事業・公演数の変遷

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事 業 数	53 事業	50 事業	55 事業	53 事業
公 演 数	70 公演	68 公演	67 公演	69 公演
講 座 数	18 講座	7 講座	8 講座	7 講座

※上記の数にアウトリーチ事業は含まない。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度はうち中止5事業10公演、令和2年度はうち中止14事業37公演1講座、延期16事業9公演5講座、令和3年度はうち中止11事業14公演3講座、延期1事業1講座、令和4年度はうち中止1事業2公演。

Ⅱ 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

地域文化会館（ホール）が市民の文化芸術活動の拠点としての役割を十分果たすとともに、指定管理者として利用料金収入の増収を図るため、営業活動の強化や割引制度の導入を推進しました。

そうした中、文化芸術の創造・発信拠点として担っている役割を果たしていくことで、文化芸術都市・京都の、まち全体の発展に引き続き寄与していくことが重要であるという考えのもと、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためホールの利用について「安全対策ガイドライン」を策定・改定し、感染症の状況や特徴を踏まえた具体的な利用上の注意点を示す等により、感染拡大防止に努めながらウィズコロナ、アフターコロナに向けた段階的な移行を行いました。

東部文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入場者数（ホール）数値	43,127 名	40,694 名	10,445 名	19,208 名	33,661 名
利 用 料 金 収 入 額	30,775 千円	29,069 千円	15,722 千円	23,808 千円	29,019 千円
駐車場利用料金収入額	3,955 千円	4,569 千円	2,128 千円	2,472 千円	3,354 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用率（日数）の目標値	62 %	63 %	62 %	55 %	64 %
利用率（日数）の実績値	64 %	55 %	36 %	59 %	59 %
目 標 達 成 度	103.2 %	87.3 %	58.1 %	107.3 %	92.2 %

呉竹文化センター

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入場者数（ホール）数値	59,884 名	59,045 名	17,079 名	30,460 名	48,605 名
利 用 料 金 収 入 額	37,665 千円	36,178 千円	22,385 千円	32,059 千円	40,093 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用率（日数）の目標値	78 %	76 %	75 %	77 %	75 %
利用率（日数）の実績値	74 %	69 %	42 %	67 %	74 %
目 標 達 成 度	94.8 %	90.7 %	56.0 %	88.3 %	98.7 %

西文化会館ウエスティ

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入場者数（ホール）数値	34,678 名	49,663 名	9,533 名	16,721 名	26,337 名
利 用 料 金 収 入 額	31,098 千円	30,247 千円	16,172 千円	25,071 千円	29,516 千円
駐車場利用料金収入額	5,002 千円	4,858 千円	1,760 千円	2,742 千円	4,238 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用率（日数）の目標値	62 %	61 %	62 %	62 %	62 %
利用率（日数）の実績値	60 %	60 %	41 %	63 %	61 %
目 標 達 成 度	96.7 %	98.3 %	66.1%	101.6 %	98.4 %

北文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入場者数（ホール）数値	35,666 名	26,196 名	9,111 名	17,089 名	29,168 名
利 用 料 金 収 入 額	38,125 千円	31,591 千円	19,759 千円	29,320 千円	37,013 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用率（日数）の目標値	80 %	80 %	80 %	80 %	80 %
利用率（日数）の実績値	77 %	59 %	39 %	67 %	77 %
目 標 達 成 度	96.2 %	73.7 %	48.8 %	83.8 %	96.3 %

右京ふれあい文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入場者数（ホール）数値	41,727 名	38,890 名	12,842 名	24,123 名	34,921 名
利 用 料 金 収 入 額	33,630 千円	35,562 千円	20,417 千円	29,513 千円	35,827 千円
駐車場利用料金収入額	4,285 千円	4,013 千円	1,935 千円	2,888 千円	4,044 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用率（日数）の目標値	76 %	76 %	74 %	78 %	69 %
利用率（日数）の実績値	69 %	67 %	46 %	63 %	71 %
目 標 達 成 度	90.7 %	88.1 %	62.2 %	80.8 %	102.9 %

(2) 舞台運営に関する企画等

主催者から舞台美術、舞台音響、舞台照明等に関する企画業務を受託しました。これまでの舞台運営業務を通して蓄積したノウハウを利用者に提供し、利用者はもとより、観客に満足していただける舞台運営に努めました。

(参考) 令和4年度 催し物の企画業務に関する受託状況

会 館 名	受託件数	受 託 内 容	収 入 金 額
右京ふれあい文化会館	3 件	バレエ発表会、学芸会	33,000 円

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進【再掲】

京都コンサートホール 8 ページ参照

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置【再掲】

京都コンサートホール 8 ページ参照

(3) 施設管理・運営システムの稼働に向けての取組

貸館における手続きをシステム化して一元管理することにより、申請書類記入の手間を省くなど、お客様にとって利用しやすい環境を整備しました。

また、同時期にホームページのリニューアルを行い、システム内の電子台帳データを参照し、リアルタイムに施設の空き状況を閲覧することが可能となりました。

(参考) 主な修繕事例（財団実施分）

会 館 名	修 繕 内 容
東 部 文 化 会 館	AHU-2(創造活動室)エアハン加湿器修繕
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	リハーサル室室外機プリント基板取替修繕
西文化会館ウエスティ	電気室吸気ファンベルト取替修繕
北 文 化 会 館	プリンター（RICOH IPSIO SP6210）修繕
右京ふれあい文化会館	警備員室エアコン修繕

3 利用促進向上の取組

(1) 地域文化会館割引制度

平成23年度からの利用料金制度導入に伴い、地域文化会館のホール利用を促進するため、平日のホールの追加利用・区分連続利用に対するサービスの向上に努めました。

ア 平日直前利用割引制度

京都コンサートホール（大ホール・アンサンブルホールムラタ）及びロームシアター京都（メインホール・サウスホール）、地域文化会館（ホール）のいずれかで、演奏会・コンサート・講演会等の諸手続きが完了しており、ホール本番利用日の2箇月前の日から本番までの平日利用に限り、ホールを準備・リハーサル等で新たに利用される場合は、通常利用料金の50%を割引く制度。

(参考) 令和4年度 平日直前利用割引制度適用件数

会 館 名	受託件数	主 な 利 用 者
東 部 文 化 会 館	5 件	バレエ教室、学校関係
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	6 件	学校関係、音楽団体等
西文化会館ウエスティ	10 件	バレエ教室、音楽団体等
北 文 化 会 館	8 件	合唱団体
右京ふれあい文化会館	12 件	バレエ教室、音楽団体等
計	41 件	

イ 平日連続区分利用割引制度

ホールを平日に2区分以上連続して利用する場合は、通常利用料金の15%を割引く制度。

(参考) 令和4年度 平日連続区分利用割引制度適用件数

会 館 名	受託件数	主 な 利 用 者
東 部 文 化 会 館	47 件	幼稚園、保育園、学校関係等
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	79 件	学校関係、幼稚園、バレエ教室等
西文化会館ウエスティ	41 件	学校関係、幼稚園、バレエ教室等
北 文 化 会 館	39 件	学校関係、幼稚園、バレエ教室等
右京ふれあい文化会館	53 件	ダンス教室、バレエ教室等、音楽教室等
計	259 件	

■ ロームシアター京都

I 主催・共催事業〔38事業117公演18講座（うち中止1事業1公演）〕

ロームシアター京都は、コロナ禍からの舞台芸術活動の回復を目指し、より一層、劇場文化の創出に努めてまいりました。これまでと同様に、「つながり（交流）」を全事業の包含する要素として位置づけ、「つくり（創造）」、「育て（育成）」、「活かす（生活）」有機的なサイクルを作り上げました。あわせて、賑わいスペース事業やミュージックサロン事業等により、賑わいの創出や身近に文化芸術に親しむための取組を行いました。

令和4年度のラインアップテーマは「旅」。このテーマには、新しい出会いや発見、そこに行くまでの過程やリサーチ、そして何かを探求すること、チャレンジなど「旅」から想起するいろんな言葉や意味合いを込めました。国内外の新鋭からそのジャンルを代表するようなアーティストまで多彩なプログラムを通して、観客をさまざまな「旅」に誘いました。令和2年度・令和3年度に中止となった事業の待望の延期公演も実現しました。

1 主催・共催事業関連

（1）交流事業

途絶えていた海外アーティストによる上演は、ギリシャ、チェコ、フランスなどから注目作が来日しました。ディミトリス・パパイオアヌー、アルファ劇場、カンパニーXYの招聘といった世界水準の演目によって、「文化の殿堂」としての存在感を発揮し、待ち望んだ海外との交流事業の再開をはかりました。ディミトリス・パパイオアヌーの最新作は、多方面から注目を集め、予想以上の観客が殺到しました。また、カンパニーXYは、晴れた秋空の下、野外でのパフォーマンスも併せて実施し、多くの観客から歓声をいただきました。残念ながら、クロノス・クアルテット《ブラック・エンジェルズ》&《ディファレント・トレインズ》に関しては、入国ビザの取得に関する予期せぬ事情によって、開催を見送らざるを得なくなりました。

那覇文化芸術劇場なは一との共同企画「宮古・八重山・琉球の芸能」（令和3年度からの延期）、Noism×鼓童『鬼』等の実施により、全国の公立劇場との連携を強化することができました。また、京都国際舞台芸術祭といった国内外の交流と地域の賑わいを創出する事業も好評裡に終了しました。

（2）創造事業

劇場の財産となる作品のプロデュースや国内外のアーティストとの協働により、ロームシアター京都を創造の場として活かした事業を展開しました。これまでも話題作を生み出してきた「レパートリーの創造」では、松田正隆による旧作と新作の連続上演を行いました。令和3年1月に発表した『シーサイドタウン』と、その延長線上にある新作『文化センターの危機』は、共に松田の故郷・長崎を彷彿とさせる海辺の地方都市を描きました。

音楽プログラムでは演出家 白井晃を迎えて、京都市交響楽団の更なる魅力を引き出すコンサート「Oblivion（オブリビオン）～失われた時間と音楽、そして新たな始まりのために」をはじめ、実験的な試み「Sound Around002」の実施などこれからの「音楽」を考える機会

を創出しました。令和3年度事業で製作した、市原佐都子による『妖精の問題 デラックス』の久留米公演[主催：久留米シティプラザ（久留米市）]も実施し、ロームシアター京都発のプロジェクトを他地域にも届けました。

（３）育成事業

開館当初より継続する「小澤征爾音楽塾」や「新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室」の充実に加え、「劇場の学校プロジェクト」、「リサーチプログラム」などの次代を担う若者を育成する事業を行いました。令和3年度から開始した「芸能の在る処～伝統芸能入門講座～」においては、「歌舞伎」、「京舞」、「宝塚」のジャンルを取り上げ、観客の開拓や育成・普及啓発に取り組みました。京都芸術センターと協働して行う創造支援プログラム「KIPPU」や京都市ユースサービス協会と連携する劇場の仕事体験「未来のわたし - 劇場の仕事 -」によって、将来的な人材育成に寄与する事業も行いました。

（４）生活事業

夏の「プレイ！シアター in Summer」、秋の「OKAZAKI PARK STAGE」と毎年好評の恒例イベントを中心に、子どもから大人まで劇場を満喫し、気軽に舞台芸術を体験できる催しを開催しました。また、地域文化会館と協働し、小さな子どもとその保護者向けの公演「およげ！ショピニアーナ」（振付：中間アヤカ）を上演し、生活と密着したプログラムを展開しました。また、京都市立芸術大学と協働し、「ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語り、いろいろ焼いて食べる会」を実施しました。ロームシアター京都としては、初めて本格的にボランティアスタッフを募り、運営に参画いただきました。劇場と生活を結びつける機会の創出を目指し、オープンスペースの活用、ホールを飛び出して行う事業などを通して、京都・岡崎地域の施設や団体と連携を深め、地域の活性化に努めました。

【主な事業】

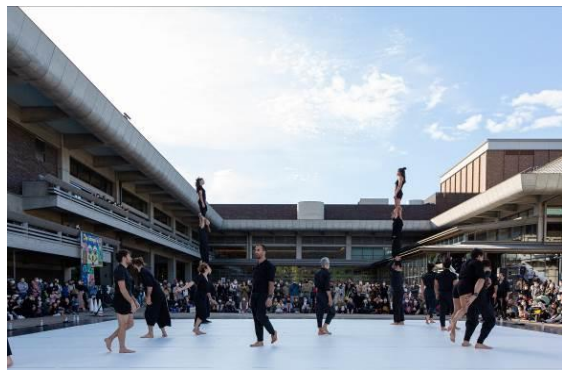
● 演劇

- ・宮古・八重山・琉球の芸能
- ・レパートリーの創造 松田正隆「シーサイドタウン」、「文化センターの危機」
- ・プレイ！シアター in Summer 2022<ステージプログラム>
『快傑ゾロ』アルファ劇場 from チェコ共和国
- ・第360回～第364回 市民寄席
- ・ノイマルクト劇場&市原佐都子／Q「Madama Butterfly（蝶々夫人）」
- ・木ノ下歌舞伎『桜姫東文章』
- ・神里雄大／岡崎藝術座「イミグレ怪談」
- ・村川拓也「ムーンライト」
- ・パルコ・プロデュース2022『セールスマンの死』
- ・COCOON PRODUCTION 2022『ツダマンの世界』



● 舞踊

- ・ Noism×鼓童『鬼』
- ・ ディミトリス・パパイオアヌー『TRANSVERSE ORIENTATION』
- ・ プレイ！シアター in Summer <ステージプログラム>
「タッチ ～ふれる，あそぶ，おどる～」fromイングランド
- ・ カンパニーXY with ラシッド・ウランダン『Möbius／メビウス』



● 音楽

- ・新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2022
G.プッチーニ：歌劇「蝶々夫人」全2幕
- ・シアターオーケストラ コンサート
Oblivion～失われた時間と音楽、そして新たな始まりのために
- ・Sound Around 002 出演：正直
- ・小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIX
G.プッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」全4幕
- ・京都市立芸術大学音楽学部創設70周年記念・移転整備プレ事業
「オーケストラ協演！in ロームシアター京都」



● 総合

● 参加する劇場へ ～学芸・教育プログラム

- ・京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2022
- ・ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム “KIPPU”
- ・ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業「およげ！ショピニアーナ」
- ・プレイ！シアター in Summer 2022<オープンデイ>
- ・岡崎活性化企画 OKAZAKI PARK STAGE 2022
- ・ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語らい、いろいろ焼いて食べる会
- ・舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～
- ・劇場の学校



2 賑わいスペース事業

「京都会館賑わいスペース事業プラン」を推進するため、賑わいスペース事業者として京都市に選定されたカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と調整・連携を図り、市民や観光客の皆様の憩いの場となるパークプラザを中心に、ブック&カフェ、レストラン、キオスクといった常設の店舗が高い評価を得て運営されるよう努めました。

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響により営業時間の短縮を継続しましたが、コロナ禍以前に近い生活文化等に関わる様々な文化イベントを実施しました。なお、入店者数においてもコロナ禍以前と同等の結果となりました。

事業内容	店舗名	営業時間※
ブック&カフェ (パークプラザ1階)	京都岡崎 蔦屋書店 スターバックスコーヒー	午前8時から午後10時
レストラン (パークプラザ2階)	京都モダンテラス	午前8時から午後11時
キオスク (サウスホール1階 ホワイエ内)	ファミリーマート	午前8時から午後10時
ギャラリー・ライブラリー (パークプラザ3階共通ロビー)	BOOK&ART GALLERIA	午前9時から午後7時 (開館時間等に応じて変更)

※新型コロナウイルス感染症の影響等により、本欄記載の時間から一時的に変更し営業しました。

実績 入店者数

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入店者数の実績値	1,708,053名	1,720,295名	1,125,605名	1,266,065名	1,732,889名

3 ミュージックサロン事業

音楽をはじめとした文化芸術に様々な形で触れ合うことができる音楽総合体験施設「ミュージックサロン」（パークプラザ3階）を、公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションと共同運営しています。①音楽その他文化芸術に関する資料の展示、②セミナー、講演会、コンサート等の文化芸術イベントの開催を中心としており、令和4年度は約6箇月間展示を実施しました。イベントに関しては、「ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート」1回をオンライン配信（ライブ、アーカイヴ）し、多くの方にお届けしました。

	事業日	事業名・内容等
1	9月13日（火）～ 12月4日（日）	【展示】 オペラの扉2022 ～ KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION ～ プッチーニのヒロインたち。 「オペラの扉2022」では、新国立劇場が制作したオペラの中からプッチーニの作品に登場するヒロインたちにスポットをあて、作中の人物像やヒロインが歌う聴きどころのアリアなどを紹介。
2	12月25日（日）	【オンラインコンサート（無料・ライブ配信）】 ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 阪田知樹が贈る、ピアノで巡る世界旅行 出演者：阪田 知樹（ピアノ）、岩崎里衣（司会）
3	2023年 1月14日（土）～ 3月26日（日）	【展示】 小澤征爾音楽塾展2023 小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトが18年ぶりにお届けする「ラ・ボエーム」。新制作となる作品の見どころ、若い音楽家たちを導く首席指揮者の素顔、演出を支えるセットと衣装デザインを紹介。他にも舞台裏をまとめた動画のプロジェクト、小澤征爾の指示が書き込まれたスコアのレプリカを展示。

実績 来場者数

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
来場者数の実績値	9,440 名	9,964 名	—	2,343 名	2,970 名

Ⅱ 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

ホール施設等を利用した催しの開催にあたっての新型コロナウイルス感染症拡大予防策も緩和の傾向にあったことから、感染症を起因とする開催自粛や催しをキャンセルされることがほぼなくなり、利用日数や利用料金収入、また来場者数といった実績は概ねコロナ禍前に近い結果となりました。

ロームシアター京都は多くの人が同時に空間を共有する場であるため、施設や催しの特性に応じた適切な感染拡大防止対策を確実に実施することで、文化芸術の創造・発信拠点として当施設が担っている役割を果たし、文化芸術都市・京都のまち全体の発展に引き続き寄与していくため、令和2年度に策定した「ロームシアター京都における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を改定しながら運用し、感染拡大防止に努めながら催しが開催できるよう工夫しました。さらにサーモグラフィー等の機材・設備等の適切な運用のほか、場内サービス等についても、感染症の状況を踏まえた運用の見直しを積極的に行い、安全、安心で快適な劇場空間を提供しました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、公演等の活動を休止した団体及び個人等に対し、令和4年11月から令和5年2月にかけて、京都府文化団体等活動継続支援事業を活用した公演を募集し、施設利用料金等について京都府が負担とする活動支援を実施しました。

実績1 利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用料金収入の目標値	328,000 千円	343,149 千円	351,389 千円	346,296 千円	339,994 千円
利用料金収入の実績値	333,812 千円	337,152 千円	136,254 千円	274,933 千円	343,413 千円
目 標 達 成 度	101.8 %	98.3 %	38.8 %	79.4 %	101.0 %

実績2 入場者数

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入場者数の目標値	510,000 名	510,000 名	520,000 名	330,000 名	330,000 名
入場者数の実績値	497,784 名	478,875 名	76,076 名	210,564 名	332,861 名
目 標 達 成 度	97.6 %	93.9 %	14.6 %	63.8%	100.9%

実績3 日数利用率

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
メイン ホール	利用率(日数)の目標値	83 %	82 %	81 %	82 %	82 %
	利用率(日数)の実績値	81 %	74 %	49 %	63 %	82 %
	目 標 達 成 度	97.6 %	90.2 %	60.5 %	76.8 %	100 %
サウス ホール	利用率(日数)の目標値	82 %	81 %	78 %	76 %	76 %
	利用率(日数)の実績値	80 %	77 %	46 %	63 %	73 %
	目 標 達 成 度	97.6 %	95.1 %	59.0 %	82.9 %	96.1 %
ノース ホール	利用率(日数)の目標値	75 %	73 %	76 %	74 %	74 %
	利用率(日数)の実績値	72 %	77 %	59 %	67 %	78 %
	目 標 達 成 度	96.0 %	105.5 %	77.6 %	90.5 %	105.4 %

(2) 岡崎公園の利用受付業務

ロームシアター京都に隣接する岡崎公園の利用受付等に関する業務を京都市より受託し、申請書の受付等の業務を行いました。

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会（CS委員会）や研修等の実施

利用者・来場者の安心・安全を確保し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上のため、職員や委託業者が参加するCS（顧客満足度向上）委員会や研修等を開催しました。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」の設置【再掲】

京都コンサートホール 8 ページ参照

(3) 賑わいスペース事業者定期連絡会の開催

賑わいスペース事業における各店舗の責任者等との定期的な連絡会を開催し、日常的な施設運営に係る様々な情報共有を行い、サービスの向上に努めました。

(4) 施設・設備の維持管理

リニューアルオープンから7年目を迎えるロームシアター京都では、施設・設備も補修や修繕が必要となり始めていることから、施設としての機能を適切に維持するため、ロームシアター京都の施工業者による漏水調査と応急処置工事等を実施したほか、利用者や観客、また、スタッフ等の安全面や快適性を視野に入れた機能向上に引き続き取り組んでいます。所有者である京都市による施設・設備の修繕のほか、財団においても京都市との指定管理契約に基づき、修繕や機能向上に取り組んでいます。

(参考) 主な修繕・機能向上等事例 (財団実施分)

修 繕 ・ 機 能 向 上 内 容
地下湧水排水ポンプ修繕
非常放送用屋外スピーカー修繕
メインホール舞台調光装置強電盤直流電源修繕

3 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

主催事業ラインアップ・リーフレット、催物カレンダーの作成、ホームページやSNSの運用、賑わい事業者と連携した取組、また、様々な広報媒体への働きかけ等により、効果的な情報提供や話題作りを行い、劇場への期待感を高めるとともに、施設の認知度を高める取組を引き続き進めました。

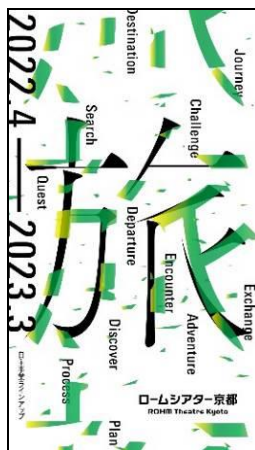
加えて、企業からの協賛金や以前より獲得してきている文化庁等の助成金のほか、新型コロナウイルス関連の新規助成金制度にも積極的に申請し、各種助成金獲得へ向けた取組強化を行うとともに、平成26年度に開始した賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）についても、引き続き新規の会員獲得に取り組むほか、会員の更新手続きを改善する等、外部資金の獲得等による劇場経営の基盤強化を図り、積極的な事業展開につなげています。

(1) 主催事業ラインアップ・リーフレットの発行

平成29年度から引き続き、主催事業ラインアップを事業の趣旨に分類して紹介するレイアウトで構成し発行しました。

(2) 催物カレンダーの発行

ロームシアター京都が自ら企画する主催・共催事業のほか、ロームシアター京都で開催される最新の催物情報を掲載したものを毎月発行し、催物情報の提供やチケット販売促進に努めました。

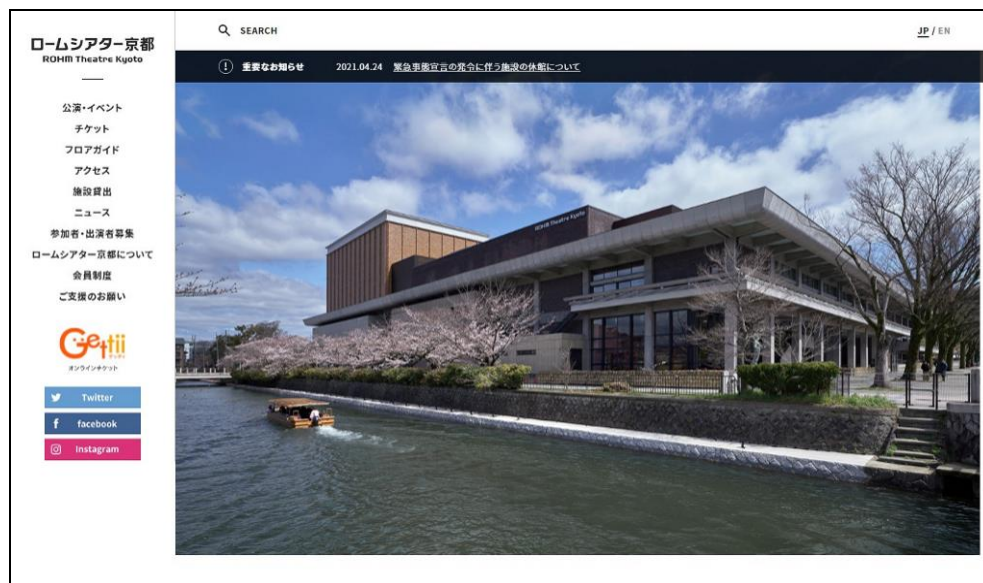


(1) 主催事業ラインアップ・リーフレット

(2) 催物カレンダー

(3) ホームページ等の充実

ホームページについては、アクセス分析等を踏まえ、適宜仕様変更を行いました。また、FacebookやTwitter等のSNSも活用し、効果的な情報提供に努めました。



(4) チケット票券管理システムの効果的な運用【再掲】

京都コンサートホール 10 ページ参照

(5) 電子チケットの導入【再掲】

京都コンサートホール 10 ページ参照

(6) 貸館利用者のチケット販売受託業務の実施【再掲】

京都コンサートホール 10 ページ参照

(7) 外部資金の獲得【再掲】

京都コンサートホール 12 ページ参照

4 各種会員制度の運営

(1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組【再掲】

京都コンサートホール 12 ページ参照

(2) 賛助会員制度の運営【再掲】

京都コンサートホール 12 ページ

■ 京都市交響楽団

I 主催・共催事業

〔全27事業52公演（うち中止1事業4公演）〕

1 定期演奏会

新型コロナウイルス感染症の影響も収まりつつある中、ヤン・ヴィレム・デ・フリーント（令和6年度から首席客演指揮者就任予定）に加え、ジョン・アクセルロッド（首席客演指揮者）や巨匠から実力派、新進気鋭の若手まで幅広く指揮者やソリストを招き、古典から近・現代までの魅力あふれる楽曲を数多く揃え、芸術性の高い、充実した演奏を提供しました。

また、5月、11月、3月の定期演奏会では、金曜夜7時30分開演の休憩なし約1時間プログラムの公演「フライデー・ナイト・スペシャル」を開催し、さらなる聴衆拡大を図りました。

2 特別演奏会

恒例のスプリングコンサート、ニューイヤーコンサート、第九コンサートを開催し、充実した出演者と心躍る楽曲により、時節を彩る演奏をお届けしました。

3 市外公演

大阪公演に加え、名古屋公演で広上淳一の指揮により実施し、日本屈指の演奏力と評される京響の知名度や評価の全国区での更なる浸透を図りました。

4 オーケストラ・ディスカバリー ～こどものためのオーケストラ入門～

「ザ・フォース・オブ・オーケストラ」と題して、オーケストラやクラシック音楽が持つ魅力を名曲の演奏と楽しいお話でご案内しました。青少年の情操の向上や健全な心の育成とともに、若い世代へのオーケストラの振興と普及を図ることを目的として、定期演奏会の会員への導入コンサートとしての位置づけで開催し、将来のクラシック愛好家を育みました。

5 みんなのコンサート

地域文化会館を会場に低料金かつ0才から入場できる演奏会を開催し、日頃クラシック音楽に接する機会の少ない市民の皆様にも身近で生の演奏に接する機会を提供し、地域密着型のオーケストラとしてクラシック音楽の普及、クラシック音楽ファンの醸成、京響ファンの獲得を図りました。

6 ロームシアター京都及び地域文化会館との連携事業

クラシック音楽のジャンルを超えたアーティスト・芸術文化とのコラボレーションによる演奏会を開催し、オーケストラの生み出す新しい音楽世界の魅力を提供することにより、幅広いオーケストラファンの獲得を図りました。

また、地域文化会館が実施する市内総合支援学校におけるアウトリーチ事業に協働で取り組み、地域の文化芸術の振興を図りました。

7 共催事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となっていました京都市内の小学生を対象とした音楽鑑賞教室は3年ぶりに開催することができ、クラシック音楽の普及とクラシックファン醸成、京響ファンの獲得を図りました。しかしながら、中学生を対象とした音楽鑑賞教室は開催できませんでした。

8 その他演奏会等

(1) 楽器講習会等

新型コロナウイルス感染症の影響により、中学生を対象とした楽器講習会の開催はできませんでしたが、吹奏楽連盟の協力のもと、高校生（一部中学生も含む）を対象とした楽器の実技指導や音楽全般に関する指導・助言を行いました。

(2) 京響コーラス

新型コロナウイルス感染症の対策として、ディスタンスの確保やコーラス用マスクの着用などを行ったうえで練習を重ね、9月定期演奏会や第九公演など、3回の演奏会で京都市交響楽団と共演しました。

(3) 京都市ジュニアオーケストラ

8月のサマーコンサートと1月の定期コンサートに向けて、楽団員によるジュニアオーケストラメンバーへの直接指導を行いました。コンサートも含めた一連の活動を通して、若い演奏家たちに演奏技術の向上や文化芸術を通して相互理解を図る貴重な機会を提供するとともに、一般の方々に未来を担う若い世代の演奏を鑑賞する機会を提供しました。

(4) 派遣（アンサンブル）演奏

京都市会での演奏や、京都サンガの試合における演奏など、京都市が開催する行事や依頼に基づくイベント等において、少人数の編成での演奏を行い、新たなファンの獲得に向けた取組を行いました。

9 京響友の会

新型コロナウイルス感染症における社会状況を鑑み、令和3年度は1年間会員募集を休止しておりましたが、令和4年度から会員募集再開にあたり会員構成の改定を行いました。従来の会員は「チケット会員」に名称変更し、新たに「スポンサー会員」「寄附会員」を新設し、多くの方々にご入会いただきました。会員の皆様には友の会機関紙の送付や定期演奏会等のチケットの割引価格での先行購入の案内等を行いました。

II 受託事業

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、中止になる演奏会もありましたが、「いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭」「シンフォニア岩国 特別演奏会」等、京都市交響楽団の京都市外

での知名度の向上を図るとともに、より充実した主催事業を実施するための資金を獲得するため、びわ湖ホール主催のオペラなど、26事業40公演（うち1事業1公演中止）を受託しました。

■ その他

I 組織人員体制・配置等の最適化

令和4年度は、管理運営施設の経営を総合的かつ安定的に展開するとともに、「中期経営計画2025」に掲げる目標の達成に向けた取組を推進してまいりました。

京都コンサートホール及び地域文化会館は、指定管理者の最終年度を迎え、次期指定管理者の獲得を見据え、求められる役割や特性、機能を最大限に発揮することを目的に体制強化を図りました。

また、ロームシアター京都については、8年間の指定管理者として前期期間の最終年度を迎えるに当たり、後期期間を見据え、より適切な施設管理及び安定的な運営が推進できる体制を整えました。

令和3年度の組織体制を継続しつつ、全体として効率化を図るとともに、施設間、所属間、所属内の連携をより一層高め、財団全体としての能力を最大限発揮できるよう、体制整備を行いました。

1 組織運営

以下の会議の定例的な開催により、京都コンサートホール、地域文化会館、ロームシアター京都及び京都市交響楽団の管理運営に係る事項について情報を共有し、貸館業務、施設管理業務の統一的な処理とそれぞれのホール特性に応じた主催事業の展開等について検討しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい財務状況を改善すべく、更なる資金調達を目指し、検討を重ねるなど、円滑な財団運営に努めました。

① 財団定例会

構成員：専務理事、事務局長、ロームシアター京都副館長、京都市交響楽団エグゼクティブプロデューサー、総務部長、事業管理部長、京都市交響楽団管理部長、京都市交響楽団演奏事業部長、総務課長、総務課担当課長、事業企画課長、コンサートホール管理課長、コンサートホール管理課担当課長、文化会館管理課長、ロームシアター京都管理課長

② 文化会館館長会議

構成員：専務理事、事務局長、総務部長、事業管理部長、総務課長、総務課担当課長、文化会館管理課長、文化会館館長、経理係長

③ 文化会館連絡会議

構成員：文化会館管理課長（チーフコーディネイター）、文化会館副館長

④ ロームシアター京都定例会

構成員：専務理事、ロームシアター京都館長、事務局長、ロームシアター京都副館長、総務部長、ロームシアター京都管理課長、ロームシアター京都事業課長、ロームシアター京都事業課担当課長、ロームシアター京都舞台技術課長、ロームシアター京都庶務係長、ロームシアター京都管理係長、ロームシアター京都事業係長

⑤ 京都市交響楽団定例会

構成員：専務理事、事務局長、京都市交響楽団エグゼクティブプロデューサー、総務部長、京都市交響楽団管理部長、京都市交響楽団演奏事業部長、京都市交響楽団管理課長、京

都市交響楽団管理課担当課長、京都市交響楽団営業・マーケティング課長、京都市交響楽団演奏事業係長

⑥ 資金調達会議

構成員：専務理事、事務局長、ロームシアター京都副館長、総務部長、事業管理部長、京都市交響楽団管理部長

2 人事異動

令和4年4月1日付けで総数38名の人事異動を行いました。

(参考1) 財団職員数の推移

職 名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般職員(総合職)	46名	47名	47名	49名
一般職員(楽団職)	—	81名	81名	81名
嘱 託 職 員	44名	48名	47名	51名
市からの出向職員	6名	6名	6名	6名
市派遣嘱託職員	84名	—	—	—
計	180名	182名	181名	187名

※各年度すべて4月1日現在の人数。

※令和2年度から京都市交響楽団楽団員の当財団への受入れのため、職名変更。

(参考2) 財団役職別職員数の推移

職 名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
局 長 級	2名	3名	3名	3名
部 長 級	2名	5名	4名	4名
課 長 級	14名	13名	15名	18名
係 長 級	16名	15名	15名	13名
リ ー ダ ー (主 任)	12名	11名	13名	13名
職 員	50名	54名	50名	55名
音 楽 ス タ ッ プ	4名	4名	4名	3名
楽 団 員	80名	77名	77名	78名
計	180名	182名	181名	187名

II 働きやすい職場づくりの推進及び人事給与制度の見直し

令和4年度については、これまでの人事給与制度の運用を安定的に行うとともに、有能な職員に対して、積極的な役職登用を行えるよう、制度の見直し等を行いました。

また、育児・介護休業法に関する法改正への対応を的確に行いつつ、年次有給休暇の取得の促進や時間外労働の抑制を行うなど、柔軟な働き方ができる職場環境づくりに努めました。

Ⅲ 人材育成・職員研修

職員一人ひとりが、常に知識、意欲、技術の向上を図ることで、利用者により一層好感度を高めていただくとともに、市民の文化芸術活動を適切に支援し、さらに文化芸術の振興のための事業を効果的に行うことができるよう研修を実施しました。

令和４年度は、職員の接遇・応対マナーの向上を目的として、接遇・応対研修を行いました。

その他、民間企業が実施する外部研修への参加機会を設け、研修制度の充実による職員一人ひとりの幅広い知識の習得や課題解決力の向上等、更なるスキルアップを図りました。

また、各施設において消防訓練の実施など、様々な危機管理・安全対策研修や講習を実施することにより、職員の緊急時における対応力・知識力を向上させ、不測の事態にも冷静に対応できるように備えました。

(参考) 令和４年度 研修内容

研 修 名	接遇マナー研修
実 施 日	令和4年7月19日（火）
受 講 人 数	50名
研 修 内 容	研修「接遇マナー研修」 講師 株式会社Consulente HYAKUNEN 佐藤 可奈 氏
会 場	京都コンサートホール 大ホール舞台上
研 修 名	外部研修
実 施 日	令和5年1月12日（木）ほか
受 講 人 数	17名
研 修 内 容	「リーダーシップ研修」 「中堅職員研修」 「中堅職員向けオーナーシップ研修」 「(若手向け) 仕事の進め方研修」 「(若手向け) コミュニケーション研修」 「ビジネスマナー研修」 「マーケティング研修」 主催 株式会社インソース
会 場	株式会社インソース大阪支社 セミナールーム

Ⅳ 環境への配慮

「環境モデル都市・京都」の取組として、平成２０年２月に認証取得したKESステップ１について、令和５年１月に継続認証を取得しました。

また、エネルギー削減を行うため、施設内の適正冷暖房の設定及び不必要な電灯の消灯等の取組を徹底してまいりました。

V 京都市交響楽団ビジョンの実現に向けた取組

令和4年度においても「京響ビジョン」の5つの戦略の推進に向けて、京都市との協議・連携のもと、財政・人的支援の確保を行い、京都市交響楽団の安定的な運営の実現に向け取組を進めてまいりました。

VI 「中期経営計画2025」の運用

中長期的な視点に立った経営を推進していくため、令和3年度末に新たに令和4～7年度を計画期間とする「中期経営計画2025」を策定しました。これに基づき、計画に掲げる5つの経営方針の推進に取り組みました。

VII 庶務報告

1 役員会の開催

令和4年度は、次のとおり理事会及び評議員会を開催し、すべての議案について可決されました。

（1）第1回理事会 令和4年5月26日

- ＜議案＞
- ・令和3年度事業報告について
 - ・令和3年度特定費用準備資金及び特定資産取得・改良資金の保有について
 - ・令和3年度補正予算について
 - ・令和3年度決算について
 - ・令和4年度追加事業について
 - ・令和4年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
 - ・舞台芸術企画運営委員及び京都市交響楽団企画運営委員の選任について
 - ・貸館等審査委員会の委員の選任について
 - ・京都国際舞台芸術祭（KYOTO EXPERIMENT）実行委員会への債務保証について
- ＜報告＞
- ・「京響友の会」元会員から提起された訴訟について

（2）第1回評議員会 令和4年6月14日

- ＜議案＞
- ・令和3年度事業報告について
 - ・令和3年度決算について
 - ・評議員の辞任について
 - ・理事の選任について
 - ・評議員の選任について
- ＜報告＞
- ・中期経営計画2025について

（３）第２回理事会 令和４年６月１４日

（書面評決）

- ＜議案＞ ・ 代表理事（理事長）の選定について
 ・ 業務執行理事（専務理事）の選定について
 ・ 常勤役員（業務執行理事）の報酬額の決定について

（４）第３回理事会 令和４年１０月１９日

- ＜議案＞ ・ 令和５年度主要事業計画について
 ・ 令和４年度第２回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
＜報告＞ ・ 京都市芸術文化施設等指定管理者の候補となる団体の選定等について
 ・ 代表理事及び職務執行理事の職務執行状況について

（５）第２回評議員会 令和４年１１月１日

（書面評決）

- ＜議案＞ ・ 評議員の辞任について
 ・ 評議員の選任について

（６）第４回理事会 令和５年３月２３日

- ＜議案＞ ・ 令和４年度特定費用準備資金について
 ・ 令和４年度補正予算について
 ・ 令和５年度事業計画について
 ・ 令和５年度収支予算について
＜報告＞ ・ 京都市芸術文化施設等指定管理者の候補となる団体の選定結果等について
 ・ 代表理事及び職務執行理事の職務執行状況について

（７）第５回理事会 令和５年３月３１日

（書面評決）

- ＜議案＞ ・ 事務局長の任命について

2 役員の異動

(1) 第1回評議員会による承認

ア 理事の就任

新再任 の別	氏 名	役 職（承認日現在）	就 任 日
新任	阿 部 裕 之	京都市立芸術大学音楽学部長	令和4年6月14日
再任	片山九郎衛門	観世流能楽師、公益社団法人京都観世会会長、 公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団理事長	
新任	桑 山 彩 子	オルガニスト	
再任	榊 田 隆 之	京都信用金庫理事長	
〃	砂 川 敬	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	
〃	染 川 里 美	オムロン株式会社グローバルインバスター&ブランドコミュニケーション本部ブランドコミュニケーション部長	
〃	竹 内 善 行	公益財団法人ロームミュージックファンデーション事務局長	
〃	西 本 清 一	地方独立行政法人京都市産業技術研究所理事長、 公益財団法人京都高度技術研究所理事長	
〃	堀 場 厚	株式会社堀場製作所代表取締役会長兼グループ CEO、京都商工会議所副会頭	
〃	森 川 佳 昭	元京都市職員	

イ 評議員の就任

氏 名	役 職（承認日現在）	就 任 日
藤 澤 浩 一	NHK京都放送局長	令和4年6月14日

ウ 評議員の辞任

氏 名	役 職（退任日現在）	辞 任 日
荒 木 美弥子	前NHK京都放送局長	令和4年6月14日

(2) 第2回評議員会による承認

ア 評議員の就任

氏 名	役 職（承認日現在）	就 任 日
大 西 祐 資	株式会社京都新聞社代表取締役社長・主筆	令和4年11月1日

イ 評議員の辞任

氏 名	役 職（退任日現在）	辞 任 日
山 内 康 敬	前株式会社京都新聞社相談役	令和4年10月31日

3 登記事項

(1) 第1回評議員会による理事及び評議員の変更

氏 名				登 記 日
評 議 員	藤 澤 浩 一			令和4年7月7日
理 事	阿 部 裕 之			
理 事	片 山 九郎衛門			
理 事	桑 山 彩 子			
理 事	榑 田 隆 之			
理 事	砂 川 敬			
理 事	染 川 里 美			
理 事	竹 内 善 行			
理 事	西 本 清 一			
理 事	堀 場 厚			
理 事	森 川 佳 昭			

(2) 第2回評議員会による評議員の変更

氏 名				登 記 日
評 議 員	大 西 祐 資			令和4年11月22日

VIII 各種委員会の開催及び会議等への参画による情報収集

1 舞台芸術企画運営委員会・貸館等審査委員会

京都コンサートホール及びロームシアター京都を審議対象とする「公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団舞台芸術企画運営委員会」を年3回開催し、企画・運営に関する基本事項や京都ならではの舞台芸術の創造や発信を目的とする舞台芸術活動への審議や助言をいただきました。

また、両館の貸館事業をより適切に運営するため、「貸館等審査委員会」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

2 情報の収集

下記の会議等に参加することで、事業や昨今の公立施設を取り巻く環境の変化について情報収集を行いました。

該当施設等	会 議 等
京都コンサートホール	公益社団法人全国公立文化施設協会
	公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部
	京都府公立文化施設協議会
	コンサートホール企画連絡会議
	劇場、音楽堂等連絡協議会
ロームシアター京都	公益社団法人全国公立文化施設協会
	公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部
	京都府公立文化施設協議会
	劇場、音楽堂等連絡協議会
	公共劇場舞台技術者連絡会
京 都 市 交 響 楽 団	公益社団法人日本オーケストラ連盟
財 団	大都市文化振興財団等連絡会

Ⅸ 遺贈に関する受入体制の整備

遺贈により音楽芸術文化を通じて社会貢献を実現したいという篤志を受け入れるために、信託銀行等と協定を締結し、希望者に対して双方で相談を受け付け、スムーズな対応が図れるよう受入体制を整備しました。

『収益事業』

I 公益目的外の施設提供事業

1 駐車場経営

指定管理業務として、主に来館者向け駐車場を運営しました。

(参考)

会 館 名	駐車可能台数	収入金額
京都コンサートホール	100 台	14,604,870 円
東 部 文 化 会 館	37 台	3,354,500 円
西文化会館ウエスティ	53 台	4,238,700 円
右京ふれあい文化会館	67 台	4,044,700 円
計	257 台	26,242,770 円

2 オリジナルグッズ販売等

京都コンサートホールオリジナルグッズ(16種類)、音楽に関連したグッズ(約30種類)、ロームシアター京都オリジナルグッズ(1種類)及び京響オリジナルグッズ(12種類)を販売しました。

(参考)

項 目	収入金額
京都コンサートホールグッズ収入	250,564 円
ロームシアター京都グッズ収入	42,000 円
プログラム等販売収入	110,230 円
チケット印刷	166,470 円
京響オリジナルグッズ収入	957,518 円
その他の	246,200 円
計	1,772,982 円

3 プレイガイドの運営

主催者から、入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し、それぞれのプレイガイドで販売しました。

(参考) 入場券販売業務受託状況

会 館 名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	174 件	14,110,666 円
東 部 文 化 会 館	0 件	0 円
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	4 件	18,460 円
西文化会館ウエスティ	0 件	0 円
北 文 化 会 館	10 件	34,350 円
右京ふれあい文化会館	1 件	13,000 円
ロームシアター京都	112 件	8,811,339 円
計	301 件	22,987,815 円

4 自動販売機の管理運営

京都コンサートホールに設置された自動販売機の管理運営を行いました。

(参考)

会 館 名	収入金額
京都コンサートホール	25,687 円
ロームシアター京都	447,700 円
計	473,387 円

令和4年度

決 算 書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

貸 借 対 照 表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	169,153,213	142,021,202	27,132,011
未収金	402,795,568	386,195,095	16,600,473
貯蔵品	8,432,169	7,755,527	676,642
立替金	2,536,504	4,667,578	△ 2,131,074
前払金	898,570	0	898,570
流動資産合計	583,816,024	540,639,402	43,176,622
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0
普通預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	103,000,000	103,000,000	0
(2)特定資産			
記念事業引当資産	56,920,000	56,920,000	0
管理運営引当資産	331,000,000	331,000,000	0
退職給付引当資産	172,164,335	220,204,618	△ 48,040,283
楽団職退職手当準備資金	131,310,713	81,117,484	50,193,229
京都コンサートホール記念事業準備資金	32,000,000	32,000,000	0
ロームシアター京都記念事業準備資金	40,000,000	40,000,000	0
京響70周年記念事業準備資金	85,500,000	71,500,000	14,000,000
ロームシアター京都事業準備資金	5,000,000	7,040,000	△ 2,040,000
楽器購入資金 (ハープ)	9,000,000	7,500,000	1,500,000
楽器購入資金 (コントラファゴット)	11,000,000	5,000,000	6,000,000
楽器購入資金 (コントラバス)	13,500,000	7,000,000	6,500,000
特定資産合計	887,395,048	859,282,102	28,112,946
(3)その他固定資産			
什器備品	64,894,185	74,912,208	△ 10,018,023
電話加入権	314,370	314,370	0
その他固定資産合計	65,208,555	75,226,578	△ 10,018,023
固定資産合計	1,055,603,603	1,037,508,680	18,094,923
資産合計	1,639,419,627	1,578,148,082	61,271,545
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	297,510,854	311,167,863	△ 13,657,009
未払法人税等	320,000	320,000	0
前受金	221,257,793	181,749,686	39,508,107
預り金	86,641,378	70,463,732	16,177,646
賞与引当金	34,292,076	38,697,380	△ 4,405,304
流動負債合計	640,022,101	602,398,661	37,623,440
2. 固定負債			
退職給付引当金	172,164,335	220,204,618	△ 48,040,283
固定負債合計	172,164,335	220,204,618	△ 48,040,283
負債合計	812,186,436	822,603,279	△ 10,416,843

貸 借 対 照 表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	55,000,000	55,000,000	0
京都市補助金	131,310,713	81,117,484	50,193,229
指定正味財産合計	186,310,713	136,117,484	50,193,229
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(55,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(131,310,713)	(81,117,484)	50,193,229
2. 一般正味財産	640,922,478	619,427,319	21,495,159
(うち基本財産への充当額)	(48,000,000)	(48,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(583,920,000)	(557,960,000)	25,960,000
正味財産合計	827,233,191	755,544,803	71,688,388
負債及び正味財産合計	1,639,419,627	1,578,148,082	61,271,545

令和４年度正味財産増減計算書

令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益	355,000	355,000	0	
1 基本財産運用益	355,000	355,000	0	
基本財産受取利息等	355,000	355,000	0	
②特定資産運用益	24,375	118,631	△ 94,256	
1 特定資産運用益	24,375	118,631	△ 94,256	
特定資産受取利息等	24,375	118,631	△ 94,256	
③事業収益	2,071,667,728	1,941,608,943	130,058,785	
1 自主・共催事業収益	550,838,963	585,715,866	△ 34,876,903	
入場料収益	139,951,990	120,460,612	19,491,378	
参加料収益	1,567,300	1,666,700	△ 99,400	
友の会会費	51,869,800	2,530,000	49,339,800	
京響コーラス会費	3,023,000	2,573,000	450,000	
広告料収益	13,851,000	21,704,000	△ 7,853,000	
共催事業収益	155,052,903	225,671,984	△ 70,619,081	
助成金収益	182,996,034	207,443,000	△ 24,446,966	
物品販売等収益	1,600,764	1,868,263	△ 267,499	
著作権隣接権等収益	926,172	1,798,307	△ 872,135	
2 事業受託収益	141,667,890	98,278,875	43,389,015	
事業受託収益	141,667,890	98,278,875	43,389,015	
3 管理受託収益	732,666,431	742,971,851	△ 10,305,420	
管理受託収益	732,666,431	742,971,851	△ 10,305,420	
4 利用料収益	606,884,971	482,122,320	124,762,651	
ホール利用料金収益	580,642,201	462,663,550	117,978,651	
駐車場利用料金収益	26,242,770	19,458,770	6,784,000	
5 その他事業収益	39,609,473	32,520,031	7,089,442	
企画・演出手数料等収益	7,918,060	6,451,265	1,466,795	
賑わい事業収益	20,135,892	17,820,000	2,315,892	
プレイガイト`事務手数料収益	11,555,521	8,248,766	3,306,755	
④受取補助金等	849,956,506	859,835,523	△ 9,879,017	
1 受取地方公共団体補助金	849,956,506	859,835,523	△ 9,879,017	
京都市補助金	849,956,506	859,835,523	△ 9,879,017	
⑤受取寄付金	9,940,000	10,278,500	△ 338,500	
1 受取寄付金	9,940,000	10,278,500	△ 338,500	
寄付金収益	9,940,000	10,278,500	△ 338,500	
⑥雑収益	34,974,606	86,358,038	△ 51,383,432	
1 雑収益	34,974,606	86,358,038	△ 51,383,432	
受取利息等	39	50	△ 11	
管理手数料等収益	9,194,665	6,366,817	2,827,848	
雑収益	25,779,902	79,991,171	△ 54,211,269	
経常収益合計	2,966,918,215	2,898,554,635	68,363,580	

令和４年度正味財産増減計算書

令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(2)経常費用				
①事業費	2,865,540,922	2,797,654,392	67,886,530	
役員報酬	3,251,423	3,226,587	24,836	
給料手当	1,049,547,194	1,040,789,431	8,757,763	
賞与引当金繰入額	32,750,675	37,140,478	△ 4,389,803	
退職給付費用	22,703,346	84,876,067	△ 62,172,721	
臨時雇賃金	40,337,421	49,650,803	△ 9,313,382	
福利厚生費	184,267,060	181,912,464	2,354,596	
会議費	480	0	480	
旅費交通費	26,525,809	24,181,270	2,344,539	
通信運搬費	20,247,335	19,464,855	782,480	
減価償却費	12,421,255	12,176,109	245,146	
消耗什器備品費	4,863,704	13,126,488	△ 8,262,784	
消耗品費	36,233,696	32,362,439	3,871,257	
商品費	1,175,206	1,946,037	△ 770,831	
見本費	3,224	0	3,224	
修繕費	29,756,795	32,246,567	△ 2,489,772	
印刷製本費	32,440,918	31,777,043	663,875	
広告宣伝費	16,076,970	17,662,338	△ 1,585,368	
光熱水料費	275,663,211	151,949,411	123,713,800	
賃借料	61,512,847	58,585,955	2,926,892	
保険料	2,390,825	2,302,252	88,573	
諸謝金	3,193,998	3,240,433	△ 46,435	
租税公課	63,772,579	61,539,517	2,233,062	
支払負担金	35,507,150	18,741,480	16,765,670	
チケット購入額	7,830	28,620	△ 20,790	
支援事業助成金	0	53,130	△ 53,130	
委託費	901,668,686	910,284,527	△ 8,615,841	
接遇交際費	16,500	0	16,500	
支払手数料等	7,893,799	7,384,276	509,523	
雑費	1,310,986	1,005,815	305,171	
②管理費	29,368,905	31,917,302	△ 2,548,397	
役員報酬	2,652,529	2,449,120	203,409	
給料手当	13,569,635	13,481,773	87,862	
賞与引当金繰入額	1,541,401	1,556,902	△ 15,501	
退職給付費用	717,423	4,774,663	△ 4,057,240	
福利厚生費	3,484,723	3,376,064	108,659	
会議費	2,092	1,778	314	
旅費交通費	193,360	132,930	60,430	
通信運搬費	37,556	72,755	△ 35,199	
減価償却費	317,563	385,668	△ 68,105	
消耗什器備品費	198,000	94,600	103,400	
消耗品費	1,103,485	468,504	634,981	

令和4年度正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
修繕費	0	29,700	△ 29,700	
印刷製本費	0	19,800	△ 19,800	
賃借料	0	800	△ 800	
保険料	250,340	237,250	13,090	
諸謝金	392,334	392,334	0	
租税公課	2,092,633	2,398,459	△ 305,826	
支払負担金	707,000	213,800	493,200	
委託費	2,083,826	1,825,977	257,849	
接遇交際費	20,000	0	20,000	
支払手数料等	5,005	4,425	580	
経常費用合計	2,894,909,827	2,829,571,694	65,338,133	
当期経常増減額	72,008,388	68,982,941	3,025,447	
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用	0	4	△ 4	
①固定資産除却損				
1 固定資産除却損				
什器備品除却損	0	4	△ 4	
固定資産除却損計	0	4	△ 4	
経常外費用計	0	4	△ 4	
当期経常外増減額	0	△ 4	4	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	21,815,159	17,865,453	3,949,706	
法人税、住民税及び事業税	320,000	320,000	0	
当期一般正味財産増減額	21,495,159	17,545,453	3,949,706	
一般正味財産期首残高	619,427,319	601,881,866	17,545,453	
一般正味財産期末残高	640,922,478	619,427,319	21,495,159	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	50,193,229	51,117,484	△ 924,255	
指定正味財産期首残高	136,117,484	85,000,000	51,117,484	
指定正味財産期末残高	186,310,713	136,117,484	50,193,229	
III 正味財産期末残高	827,233,191	755,544,803	71,688,388	

令和４年度正味財産増減計算書 内訳書

令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	オーケストラによる 文化芸術事業					
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1)経常収益							
①基本財産運用益	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
1 基本財産運用益	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
基本財産受取利息等	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
②特定資産運用益	24,375	0	24,375	0	0	0	24,375
1 特定資産運用益	24,375	0	24,375	0	0	0	24,375
特定資産受取利息等	24,375	0	24,375	0	0	0	24,375
③事業収益	1,501,677,739	337,873,038	1,839,550,777	414,313,172	29,378,905	△ 211,575,126	2,071,667,728
1 自主・共催事業収益	351,224,022	198,014,177	549,238,199	1,772,982	0	△ 172,218	550,838,963
入場料収益	75,060,180	64,891,810	139,951,990	0	0	0	139,951,990
参加料収益	1,567,300	0	1,567,300	0	0	0	1,567,300
友の会会費	3,004,000	48,865,800	51,869,800	0	0	0	51,869,800
京響クラス会費	0	3,023,000	3,023,000	0	0	0	3,023,000
広告料収益	13,851,000	0	13,851,000	0	0	0	13,851,000
共催事業収益	142,733,508	12,319,395	155,052,903	0	0	0	155,052,903
助成金収益	115,008,034	67,988,000	182,996,034	0	0	0	182,996,034
物品販売等収益	0	0	0	1,772,982	0	△ 172,218	1,600,764
著作隣接権等収益	0	926,172	926,172	0	0	0	926,172
2 事業受託収益	51,650,459	139,858,861	191,509,320	0	0	△ 49,841,430	141,667,890
事業受託収益	51,650,459	139,858,861	191,509,320	0	0	△ 49,841,430	141,667,890
3 管理受託収益	556,762,032	0	556,762,032	146,525,494	29,378,905	0	732,666,431
管理受託収益	556,762,032	0	556,762,032	146,525,494	29,378,905	0	732,666,431
4 利用料収益	542,041,226	0	542,041,226	210,941,769	0	△ 146,098,024	606,884,971
ホール利用料金収益	542,041,226	0	542,041,226	184,698,999	0	△ 146,098,024	580,642,201
駐車場利用料金収益	0	0	0	26,242,770	0	0	26,242,770
5 その他事業収益	0	0	0	55,072,927	0	△ 15,463,454	39,609,473
企画・演出手数料等収益	0	0	0	11,949,220	0	△ 4,031,160	7,918,060
賑わい事業収益	0	0	0	20,135,892	0	0	20,135,892
プレイガイド事務手数料収益	0	0	0	22,987,815	0	△ 11,432,294	11,555,521
④受取補助金等	0	844,045,337	844,045,337	5,911,169	0	0	849,956,506
1 受取地方公共団体補助金	0	844,045,337	844,045,337	5,911,169	0	0	849,956,506
京都市補助金	0	844,045,337	844,045,337	5,911,169	0	0	849,956,506
⑤受取寄付金	9,790,000	150,000	9,940,000	0	0	0	9,940,000
1 受取寄付金	9,790,000	150,000	9,940,000	0	0	0	9,940,000
寄付金収益	9,790,000	150,000	9,940,000	0	0	0	9,940,000
⑥雑収益	6,407,783	15,000,000	21,407,783	13,566,823	0	0	34,974,606
1 雑収益	6,407,783	15,000,000	21,407,783	13,566,823	0	0	34,974,606
受取利息等	39	0	39	0	0	0	39
管理手数料等収益	0	0	0	9,194,665	0	0	9,194,665
雑収益	6,407,744	15,000,000	21,407,744	4,372,158	0	0	25,779,902
経常収益合計	1,518,254,897	1,197,068,375	2,715,323,272	433,791,164	29,378,905	△ 211,575,126	2,966,918,215

令和４年度正味財産増減計算書 内訳書

令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	オーケストラによる 文化芸術事業					
(2)経常費用							
①事業費	1,495,311,309	1,149,147,514	2,644,458,823	432,647,225	0	△ 211,565,126	2,865,540,922
役員報酬	1,857,956	1,161,223	3,019,179	232,244	0	0	3,251,423
給料手当	277,535,973	643,557,454	921,093,427	128,453,767	0	0	1,049,547,194
賞与引当金繰入額	18,375,844	6,255,483	24,631,327	8,119,348	0	0	32,750,675
退職給付費用	15,928,533	1,390,565	17,319,098	5,384,248	0	0	22,703,346
臨時雇賃金	11,094,005	3,006,968	14,100,973	26,236,448	0	0	40,337,421
福利厚生費	48,945,744	108,824,678	157,770,422	26,496,638	0	0	184,267,060
会議費	480	0	480	0	0	0	480
旅費交通費	9,103,817	17,338,450	26,442,267	88,322	0	△ 4,780	26,525,809
通信運搬費	9,980,893	9,668,333	19,649,226	701,509	0	△ 103,400	20,247,335
減価償却費	8,268,732	2,581,325	10,850,057	1,571,198	0	0	12,421,255
消耗什器備品費	3,319,790	846,505	4,166,295	697,409	0	0	4,863,704
消耗品費	20,792,126	10,057,169	30,849,295	5,396,401	0	△ 12,000	36,233,696
商品費	0	0	0	1,175,206	0	0	1,175,206
見本費	0	0	0	6,182	0	△ 2,958	3,224
修繕費	19,637,660	5,300,164	24,937,824	4,818,971	0	0	29,756,795
印刷製本費	22,247,715	8,926,025	31,173,740	1,411,178	0	△ 144,000	32,440,918
広告宣伝費	11,731,814	4,195,204	15,927,018	149,952	0	0	16,076,970
光熱水料費	210,862,065	7,359,618	218,221,683	57,441,528	0	0	275,663,211
賃借料	114,188,734	86,524,636	200,713,370	1,362,557	0	△ 140,563,080	61,512,847
保険料	1,029,985	1,212,860	2,242,845	147,980	0	0	2,390,825
諸謝金	1,024,824	925,785	1,950,609	1,243,389	0	0	3,193,998
租税公課	36,941,477	4,790,199	41,731,676	22,040,903	0	0	63,772,579
支払負担金	6,578,225	28,804,739	35,382,964	124,186	0	0	35,507,150
チケット購入額	7,830	0	7,830	0	0	0	7,830
支援事業助成金	5,606,494	0	5,606,494	0	0	△ 5,606,494	0
委託費	635,987,974	193,913,321	829,901,295	136,892,545	0	△ 65,125,154	901,668,686
接遇交際費	0	16,500	16,500	0	0	0	16,500
支払手数料等	3,450,957	2,017,717	5,468,674	2,425,125	0	0	7,893,799
雑費	811,662	472,593	1,284,255	29,991	0	△ 3,260	1,310,986
②管理費	0	0	0	0	29,378,905	△ 10,000	29,368,905
役員報酬	0	0	0	0	2,652,529	0	2,652,529
給料手当	0	0	0	0	13,569,635	0	13,569,635
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	1,541,401	0	1,541,401
退職給付費用	0	0	0	0	717,423	0	717,423
福利厚生費	0	0	0	0	3,484,723	0	3,484,723
会議費	0	0	0	0	2,092	0	2,092
旅費交通費	0	0	0	0	193,360	0	193,360
通信運搬費	0	0	0	0	37,556	0	37,556
減価償却費	0	0	0	0	317,563	0	317,563
消耗什器備品費	0	0	0	0	198,000	0	198,000
消耗品費	0	0	0	0	1,113,485	△ 10,000	1,103,485

令和4年度正味財産増減計算書 内訳書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計				
	文化芸術事業	オーケストラによる 文化芸術事業					
保険料	0	0	0	0	250,340	0	250,340
諸謝金	0	0	0	0	392,334	0	392,334
租税公課	0	0	0	0	2,092,633	0	2,092,633
支払負担金	0	0	0	0	707,000	0	707,000
委託費	0	0	0	0	2,083,826	0	2,083,826
接遇交際費	0	0	0	0	20,000	0	20,000
支払手数料等	0	0	0	0	5,005	0	5,005
経常費用合計	1,495,311,309	1,149,147,514	2,644,458,823	432,647,225	29,378,905	△ 211,575,126	2,894,909,827
当期経常増減額	22,943,588	47,920,861	70,864,449	1,143,939	0	0	72,008,388
2. 経常外増減の部							
(1)経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	22,943,588	△ 2,272,368	20,671,220	1,143,939	0	0	21,815,159
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	320,000	0	0	320,000
当期一般正味財産増減額	22,943,588	△ 2,272,368	20,671,220	823,939	0	0	21,495,159
一般正味財産期首残高			616,287,391	3,139,928	0	0	619,427,319
一般正味財産期末残高			636,958,611	3,963,867	0	0	640,922,478
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額		50,193,229	50,193,229	0	0	0	50,193,229
指定正味財産期首残高			136,117,484	0	0	0	136,117,484
指定正味財産期末残高			186,310,713	0	0	0	186,310,713
III 正味財産期末残高			823,269,324	3,963,867	0	0	827,233,191

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価額による。なお償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品…先入先出法による原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

当財団経理規程第21条に従い、償却費の計算は定率法により行っており、勘定記入の方法は直接法により行っている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を引き当てる。

退職給付引当金…職員の退職金の支払に備えるため、財団の規程に基づき算出した要支給額から独立行政法人勤労者退職金共済機構の中退共制度による外部拠出額を控除した金額を引き当てている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の取扱いについては、税込処理方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	103,000,000	0	0	103,000,000
特定資産				
記念事業引当資産	56,920,000	0	0	56,920,000
管理運営引当資産	331,000,000	0	0	331,000,000
退職給付引当資産	220,204,618	12,984,163	61,024,446	172,164,335
楽団職退職手当準備資金	81,117,484	65,000,000	14,806,771	131,310,713
京都コンサートホール記念事業準備資金	32,000,000	0	0	32,000,000
ロームシアター京都記念事業準備資金	40,000,000	0	0	40,000,000
京響70周年記念事業準備資金	71,500,000	14,000,000	0	85,500,000
ロームシアター京都事業準備資金	7,040,000	5,000,000	7,040,000	5,000,000
楽器購入資金（ハープ）	7,500,000	1,500,000	0	9,000,000
楽器購入資金（コントラファゴット）	5,000,000	6,000,000	0	11,000,000
楽器購入資金（コントラバス）	7,000,000	6,500,000	0	13,500,000
小 計	859,282,102	110,984,163	82,871,217	887,395,048
合 計	962,282,102	110,984,163	82,871,217	990,395,048

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
京都市債	100,000,000	(55,000,000)	(45,000,000)	-
普通預金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	-
小 計	103,000,000	(55,000,000)	(48,000,000)	(0)
特定資産				
記念事業引当資産	56,920,000	(0)	(56,920,000)	-
管理運営引当資産	331,000,000	(0)	(331,000,000)	-
退職給付引当資産	172,164,335	(0)	(0)	(172,164,335)
楽団職退職手当準備資金	131,310,713	(131,310,713)	(0)	-
京都コンサートホール記念事業準備資金	32,000,000	(0)	(32,000,000)	-
ロームシアター京都記念事業準備資金	40,000,000	(0)	(40,000,000)	-
京響70周年記念事業準備資金	85,500,000	(0)	(85,500,000)	-
ロームシアター京都事業準備資金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	-
楽器購入資金 (ハープ)	9,000,000	(0)	(9,000,000)	-
楽器購入資金 (コントラファゴット)	11,000,000	(0)	(11,000,000)	-
楽器購入資金 (コントラバス)	13,500,000	(0)	(13,500,000)	-
小 計	887,395,048	(131,310,713)	(583,920,000)	(172,164,335)
合 計	990,395,048	(186,310,713)	(631,920,000)	(172,164,335)

4. 固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	219,172,259	154,278,074	64,894,185

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価並びに評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益	
京都市グリーンボンド5年公募公債	50,000,000	50,140,000	140,000	退職給付引当資産
京都市債5年(平成30年度第2回)	50,000,000	50,005,000	5,000	管理運営引当資産
京都市債5年(令和元年度第2回)	50,000,000	49,990,000	△ 10,000	管理運営引当資産
京都市債5年(令和4年度第5回)	50,000,000	50,425,000	425,000	管理運営引当資産
京都市債20年(第18回)	100,000,000	89,660,000	△ 10,340,000	基本財産
合 計	300,000,000	290,220,000	△ 9,780,000	

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金 京都市交響楽団事業負担金 交付者 京都市	81,117,484	849,956,506	799,763,277	131,310,713
受取補助金計	81,117,484	849,956,506	799,763,277	131,310,713

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
助成金				
舞台芸術創造活動活性化事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	61,988,000	61,988,000	0
芸術創造普及活動助成 (現代舞台芸術創造普及活動助成) 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	5,000,000	5,000,000	0
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	46,762,000	46,762,000	0
音楽公演助成 交付者 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション	0	30,000,000	30,000,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 青山音楽財団	0	400,000	400,000	0
公演助成 交付者 特定非営利活動 法人映像産業振興機構	0	25,000,000	25,000,000	0
公演助成 交付者 一般財団法人 地域創造	0	5,081,000	5,081,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 日本室内楽振興財団	0	200,000	200,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 アフィニス文化財団	0	500,000	500,000	0
公演助成 交付者 三菱UFJ信託芸 術文化財団	0	500,000	500,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 JKA	0	7,565,034	7,565,034	0
受取助成金計	0	182,996,034	182,996,034	0
合 計	81,117,484	1,032,952,540	982,759,311	131,310,713

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手許保管	運転資金として	4,202,446
	普通預金	総務課、コンサートホール管理課、文化会館管理課、事業企画課		
		京都銀行下鴨支店	〃	22,900,472
		三菱UFJ銀行京都支店	〃	711,995
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	68,242
		京都信用金庫北山支店	〃	60,124
		滋賀銀行北大路支店	〃	19,426
		三井住友信託銀行京都支店	〃	20,056
		三井住友銀行京都支店	〃	16,808
		ゆうちょ銀行京都北山支店	〃	2,931,134
		京都市交響楽団		
		京都銀行下鴨支店	〃	29,136,856
		三菱UFJ銀行京都支店	〃	389,805
		三井住友銀行京都支店	〃	13,800
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	45,819
		京都信用金庫北山支店	〃	9,654
		ロームシアター京都		
		京都銀行京都市役所前支店	〃	70,723,371
		京都市東部文化会館		
		京都銀行山科中央支店	〃	2,533,057
		京都市呉竹文化センター		
		京都銀行伏見支店	〃	10,737,128
		京都市西文化会館ウエスティ		
		京都銀行上桂支店	〃	5,288,308
		京都市北文化会館		
		京都銀行鞍馬口支店	〃	5,102,134
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	211,485
		京都市右京ふれあい文化会館		
		京都銀行太秦安井支店	〃	10,150,018
	郵便振替	コンサートホール管理課	〃	1,233,576
		京都市交響楽団	〃	240,457
		ロームシアター京都	〃	876,473
		京都市東部文化会館	〃	126,034
		京都市呉竹文化センター	〃	576,530
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	364,790
		京都市北文化会館	〃	405,650
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	57,565
		総務課	指定管理料等	112,495,266
		コンサートホール管理課、文化会館管理課、事業企画課	ホール利用料金等	58,455,526
	未収金	京都市交響楽団	公演料、助成金等	91,449,026
		ロームシアター京都	ホール利用料金等	138,614,380
		京都市東部文化会館	〃	110
		京都市呉竹文化センター	〃	417,740
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	250
		京都市北文化会館	〃	1,174,590
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	188,680

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	貯蔵品	コンサートホール管理課	販売用商品	786,412
		京都市交響楽団	〃	1,598,674
		ロームシアター京都	販売用商品, 照明用ボリカー	2,943,471
		京都市東部文化会館	照明用ボリカー	647,955
		京都市呉竹文化センター	〃	573,209
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	990,156
		京都市北文化会館	〃	475,709
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	416,583
	立替金	総務課	光熱水料費等	329,790
		コンサートホール管理課, 文化会館管理課	〃	2,601
		ロームシアター京都	〃	2,204,113
	前払金	京都市交響楽団	AED保証金ほか	898,570
流動資産合計				583,816,024
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	18回 京都市公募公債(20年)	運用益を公益目的事業の財源として	100,000,000
	普通預金	京都銀行下鴨支店		3,000,000
特定資産	記念事業引当資産	普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	56,920,000
	管理運営引当資産	京都市債平成30年度第2回(5年)	〃	50,000,000
		京都市債令和元年度第2回(5年)	〃	50,000,000
		京都市債令和4年度第5回(5年)	〃	50,000,000
		定期預金 京都銀行下鴨支店	〃	10,000,000
		定期預金 三菱UFJ銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金 三井住友銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金 三井住友信託銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金 京都中央信用金庫北鳥丸支店	〃	10,000,000
		定期預金 滋賀銀行北大路支店	〃	10,000,000
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	121,000,000
	退職給付引当資産	京都市債 令和4年度グリーンボンド公募公債	退職給付引当金に充てる	50,000,000
		定期預金 京都信用金庫北山支店	〃	10,000,000
		定期預金 みずほ信託銀行京都支店	〃	10,000,000
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	102,164,335
	特定費用準備資金	普通預金 京都銀行下鴨支店	楽団職退職手当準備資金	131,310,713
		〃	京都コンサートホール記念事業準備資金	32,000,000
		〃	ロームシアター京都記念事業準備資金	40,000,000
		〃	京響70周年記念事業準備資金	85,500,000
		〃	ロームシアター京都事業準備資金	5,000,000
	特定資産取得・改良資金	普通預金 京都銀行下鴨支店	什器備品購入(ハーフ)	9,000,000
		〃	〃 (コントラファゴット)	11,000,000
		〃	〃 (コントラバス)	13,500,000
その他固定資産	什器備品	総務課	什器備品	818,394
		コンサートホール管理課, 事業企画課	〃	2,781,291
		京都市交響楽団	〃	52,727,283
		ロームシアター京都	〃	2,451,172
		京都市東部文化会館	〃	1,188,448
		京都市呉竹文化センター	〃	1,183,945
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	1,371,253
		京都市北文化会館	〃	1,183,946
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	1,188,453
	電話加入権	コンサートホール管理課, 事業企画課	電話加入権	314,370
固定資産合計				1,055,603,603
資産合計				1,639,419,627

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動負債)	未払金	総務課	人件費等	98,365,694	
		コンサートホール管理課, 事業企画課, 文化会館管理課	公演経費, ホール運営経費等	49,790,166	
		京都市交響楽団	人件費, 公演経費等	75,104,845	
		ロームシアター京都	公演経費, ホール運営経費等	66,436,899	
		京都市東部文化会館	〃	1,510,237	
		京都市呉竹文化センター	〃	1,394,945	
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	1,365,400	
		京都市北文化会館	〃	2,488,342	
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	1,054,326	
		未払法人税等	総務課	法人税等	320,000
	前受金	コンサートホール管理課, 事業企画課, 文化会館管理課	ホール利用料金等	36,163,795	
		京都市交響楽団	友の会会費等	45,451,200	
		ロームシアター京都	ホール利用料金等	109,030,348	
		京都市東部文化会館	〃	4,612,900	
		京都市呉竹文化センター	〃	8,943,390	
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	2,954,630	
		京都市北文化会館	〃	6,269,170	
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	7,832,360	
		預り金	総務課	社会保険料等	6,074,495
			コンサートホール管理課, 事業企画課, 文化会館管理課	チケット購入代金等	44,558,529
	京都市交響楽団		〃	23,648,489	
	ロームシアター京都		公演料, 助成金等	8,788,638	
	京都市東部文化会館		舞台設備料等	832,223	
	京都市呉竹文化センター		〃	1,095,376	
	京都市西文化会館ウエスティ		〃	243,600	
	京都市北文化会館		〃	330,679	
	京都市右京ふれあい文化会館		〃	1,069,349	
	賞与引当金		職員	賞与引当金	34,292,076
	流動負債合計				640,022,101
	(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員退職給付引当金	172,164,335
固定負債合計				172,164,335	
負債合計				812,186,436	
正味財産				827,233,191	